



「見よ、
わたしはすぐに来る」

目次

栄光に満ちた喜びを与える望み	5
キリストの来臨のしるし	10
わたしたちの時代のための警告のメッセージ	15
終わりの時代の誤った考え	20
イエスは本当に再び来られる!	25
大いなる力と栄光をもって	31
待ち、そして見張る	36
イエスとの個人的な関係	41
準備する	46
主人のために働く	52
神のタイミングの知恵	57
大いなる叫びへと盛り上がる	62
夜中から明け方へ	67
最終的な結果	72

安息日聖書教科は、他のコメントをいっさい加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。引用文は、簡潔で直接的な見解を提供するために、可能なかぎり短くされています。ある部分では、明瞭さや、適切な前後関係、また読みやすさのために〔 〕の括弧が使われています。抜粋されている原文をさらに研究することをぜひともお勧めします。

セブンスデーアドベンチスト改革運動世界総会安息日学校部 (P.O.Box 7240
Roanoke, Virginia 24019-0240, U.S.A)

安息日聖書教科 Vol.93, No.3

編集&発行:

S DA改革運動日本ミッション

〒368-0071

埼玉県秩父郡横瀬町芦ヶ久保
1607-1

TEL: (0494) 22-0465

FAX: (0494) 40-1045

URL:

<http://www.4angels.jp>

E-mail:

support@4angels.jp

イラスト: Illustrations: Good
Salt on the front cover and
Map Resources on pp. 4, 46,
80; Sermon View on pp. 30,
80.

まえがき

キリストの再臨の主題は、聖書の中で何百回も述べられており、各時代にわたり、教会の祝福された望みでした。それは世に伝えられるべき最後のメッセージ—現代の真理—の基調です。

「キリストの再臨の望みの理解は、あとに続くすべての歴史の鍵を開き、将来のすべての教訓を説明する」(伝道 220)。

キリストの来臨を切に待ち望んでいると公言する民として、わたしたちはこの出来事を指し示しているすべてのしるしを見張っているべきです。これは世の歴史における最大の出来事となります。わたしたちは主の再臨の日にちを定めようとはしませんが、預言者たち、使徒たち、またキリストご自身によって(特にマタイ 24 章の中で)与えられたしるしを見張ることにより、キリストの再臨が非常に近いこと—今日においてはまさに門口まで来ていること—がわかると教えられています。

使徒ペテロによりますと、わたしたちは主の来臨を待ち望むだけではなく、「早める」べきです(ペテロ第二 3:12 英語訳)。わたしたちは実際に、このお方にお会いする準備をすることによって(ルカ 12:36-38; 使徒行伝 3:19, 20; ペテロ第二 3:14)、またこのお方がわたしたちに委ねられた働きをすることによって(ルカ 19:12, 13, 15; 14:23; マタイ 24:14)、このお方の来臨を「早める」ことができます。もし、そうしないなら、わたしたちには主の来臨を「遅くする」責任を問われます。これらの教科を研究しながら、すべての安息日学校の生徒たちは次の質問の光のうちに自らを吟味する良い機会を得ることでしょう。わたしの生活によって、わたしは主の来臨を「早めて」きたでしょうか、あるいは「遅らせて」きたでしょうか。もしわたしがこのお方の来臨を「遅らせて」きたと信じるに足る理由があるとしたら、どのようにして自分の生活において U ターンし、心を尽くして、主がわたしにおさせになりたいことを始めることができるであろうか。これらに対するはっきりとした答えを、教会の中に見出すことでしょう。

キリストが間もなく来られることを信じ、それについて書かれてあることをすべて知り、それを他の人々に宣べ伝えるだけでは十分ではありません。「細い道を旅している」と公言しながら、「広い道」にいる三重のメッセージの自称信徒たちが非常に多くいます。彼らは自らと他の人々を欺いているのです。彼らの矛盾が、次の言い訳をもって罪人たちの心を頑なにしています、「わたしたちの間に何の区別もない。わたしたちは似ている。わたしたちの衣服も語ることも行為も似ている」(教会への証 1 巻 128)。そのような人々は「あなたは、はかりで量られてその量の足りないことがあらわれ」るのです(初代文集 p97)。この教科はわたしたちがこのような種類の霊的な破船をどのようにして避けることができるかを示しています。

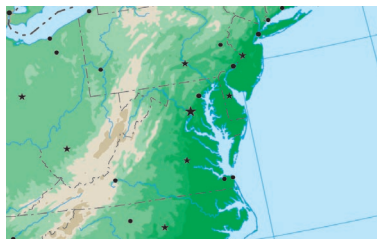
これらの教科を研究することによって、わたしたちがよりキリストに近くなり、また互いに近くなって、各々より深い献身へと導かれますように。わたしたちがみな一つになって、聖霊の啓示のために、働きを終えるためにとりなしをし、それによって 1844 年の神の民のように熱心に待ち望みながら準備をすることができますように。

世界総会安息日学校支部

第一安息日献金

アメリカ合衆国ワシントン D.C. の礼拝堂のために

モ親愛なる世界中の兄弟姉妹、友人の皆さん
イエスの再臨のために準備している民として、
わたしたちは神のみ摂理の下ですべての個人のた
めに宗教の自由を提供する国を建国した父祖た
ちに感謝という負債を負っています。アメリカ合
衆国は 324,227,000 人という世界で第三の人口
を持つ国です。首都はワシントン・コロンビア特
別区に位置し、64 マイルの円周を持つ道路でバ



ージニア州とメリーランド州につながっています。およそ 650,000 人の住民には国家の政府
首脳や外国の使節やその家族が含まれ、またバーージニアやメリーランド近郊からの 100 万
人を超える平日の通勤人口により、ワシントン D.C. は合衆国のうちで 24 番目に人口の多い
都市であり、7 番目に大きい大都市圏です。この大都市は経済的、政治的、文化的商業を
もった福音を広めるのに肥沃な土壌です。

ワシントン D.C. 地域における改革の動きは 1970 年代にほんの一握りの教会員によって
始まりました。1980 年にメリーランドのテンプル・ヒルズ（特別区の近郊）に小さな家を買
入し、教会としました。この小さな礼拝堂がこの大きな地域の灯台として役割を果たしてきま
した。多くの兄弟たちがテンプル・ヒルズを通して、この地域に牧師館を建てるのを助けま
した。長年の間使われ、およそ 30 人を収容できる礼拝堂は、いまわたしたちが礼拝する
には狭すぎます。教会員や常連として出席する来客の数が増えたため、もっと大きな建物が
必要になっています。多くの祈りと断食の後、戦略的にこの大都市圏に位置し、わたしたち
が「それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として」（マタイ 28:19 強調付加）
というわたしたちの主の任務をよりよく果たすことができるもっと大きな施設を購入するこ
とが決まりました。福音の宣布はすべての国民、部族、国語、民族に伝えられ、主のために
魂を勝ち取らなければなりません。

合衆国の礼拝堂において新しい灯台の光を掲げるためのこのプロジェクトをもって、わた
したちを助けてくださるように、すべての安息日学校生徒の方にお願ひします。皆さんが惜
しみなくみ事業にお捧げするとき、神様が皆さんに豊かに報いてくださいますように。わた
したちはこのふさわしい計画への皆さんの惜しみない献金にさきだち、お礼申し上げます。

テンプル・ヒルズの皆さんの兄弟姉妹より

栄光に満ちた喜びを与える望み

「見よ、主は無数の聖徒たちを率いてこられた。」(ユダ 14 下句)

「長い間『死の地、死の陰』をたどってきた神の旅人たちにとって『よみがえりであり、命で』あり、『追放されたものを帰らせ』られる主の出現の約束は、尊く喜びに満ちた希望であった。」(各時代の大争闘上巻 385)

推奨文献：各時代の大争闘上巻 385 ～ 390

日曜日

6月25日

1. 神の約束によって活気づけられる

- a. 歴史上ごく当初、アダムから7代目の父祖は幻の中で何を示されましたか。またそれがどのように彼を力強い方法で動機づけましたか (ユダ 14, 15)。

「神は、預言の霊によって、洪水後に生存する代々の人々と、キリストの再臨および世界の終末に関する大事件を彼にお示しになった。……

彼は、預言の幻のなかで、キリストの死について教えられ、キリストが、彼の民を贖い出すためにすべての清いみ使いたちを率いて、栄光のうちにおいでになることを示された。また、彼は、キリストが再び来られるときの世界の墮落の状態を見た。人々は、誇りと高ぶりに満ち、気ままにふるまい、唯一の神と主イエス・キリストをいなし、律法をふみにじって贖罪を軽んじるを見た。彼は、義人が栄光と誉れを受け、悪人が主のみ前から追われて、火によって滅ぼされるのを見た。

エノクは義の説教者になって、神がお示しになったことを人々に伝えた。」(人類のあけぼの上巻 82)

2. 喜ばしい確信

- a. 旧約の時代に、神の民がキリストの再臨における自分たちの希望を表現した方法を描写しなさい（詩篇 50:1-4; 96:11-13）。

「正義の時代の到来を告げるキリストの再臨は、聖書記者たちに、最も崇高で熱烈な言葉を言わせたのである。聖書の詩人や預言者は、天来の火に燃やされて、そのことを語った。」（各時代の斗争闘上巻 386）

- b. 預言者ハバククはどのような高められた言葉をもってイエスの再臨を描写しましたか（ハバクク 3:3-6）。

- c. どの慰めに満ちた励ましの約束が新約時代の信徒たちに繰り返されていますか。またどのようにこれが力強い方法でわたしたちに感化を及ぼすべきですか（使徒行伝 1:10, 11）。

「また来るという、オリブ山上での救い主の、離別にあたった約束は、弟子たちの未来を明るく照らし、彼らの心を喜びと希望で満たし、どんな悲しみも試練もこれを消し去ることはできなかった。」（同上 389）

「〔使徒行伝 1:11 引用〕。悲しんでいる弟子たちにとって、彼らが大いに愛していたイエスを再び見るというこの約束は実に尊いものであった。真にイエスを愛している人はだれも、このお方が戻ってこられることを悲しんだりはしない。そして人の子の来臨に近づくにつれ、イエスを真に愛する人々は、喜ばしい希望をもって待ち望み、自分の魂の愛するお方、自分たちを贖うために死なれたお方を見るためにあらゆる準備に努めるのである。

イエスが来られる！しかし、人類の苦悩を聞くためではなく、罪深い罪人の罪の告白を聞くためではなく、彼に許しを語るためでもない。なぜなら、その時にはすべての人の判決は生か死に決定しているからである。罪のうちに生きてきた人々は永遠に罪人のままである。聖所におられるイエスに自分の罪を告白し、このお方を友とし、このお方の来臨を願ってきた人々は、自分たちのすべての罪のところに許しが書きこまれるのである。そして自分たちの魂を『真理に従うことによって』清めてきた人々は、永遠に清く聖なるままなのである。』（エース・インストラクター 1854 年 4 月 1 日）

3. わたしたちが真剣に準備する価値がある

- a. パウロによって表現された望みから、わたしたちはどのように勇気を得ることができますか (テトス 2:11-13)。

「わたしたちは祝福された望み、わたしたちの主なる救い主イエス・キリストの栄光に満ちた出現を待ち、望み、祈っている旅人であり、寄留者である。もしわたしたちがこれを信じ、これを自分の実生活に持ち込むなら、この信仰と希望はなんとという活力に満ちた行動を吹き込むことであろう。どれほど熱く互いに愛し、どれほど注意深く神の栄光のために聖く生きることであろう。そして、報いとして受ける報酬を重視して、わたしたちと世との間にはどれほどはっきりとした区別の線が示されることであろう。」(伝道 220)

「神はご自分の民がわたしたちの主なる救い主イエス・キリストの、栄光に満ちた出現を待ち望んで、天へ向けて自分たちの目を固定するよう意図しておられる。世俗の人々の注意が様々な事業に向けられているかたわら、わたしたちの注意は諸天へ向けられているべきである。イエスのみ顔に天の聖所からの神聖な光線が輝いていたように、わたしたちの心の中に輝くために、その光線を引き込みつつ、わたしたちの信仰はもつともつと天の宝の栄光に満ちた奥義の中へ届くべきである。……

わたしたちの主の願いは、わたしたちが見張っていることである。こうしてこのお方が来て、戸を叩かれたときに、わたしたちはすぐにこのお方に戸を開くことができるためである。」(教会への証 2 巻 194, 195)

- b. イエスはご自分を熱烈に待ち望んでいる人々に、どのように現れますか (ヘブル 9:28 (下句))。

「キリストも、仲保者としての働きを終えられると、『罪を負うためではなしに……救いを与える』ために来られて、彼を待っている人々に永遠の生命をお与えになる (ヘブル 9:28)。」(各時代の大争闘下巻 218)

「イエスは昇天されたように、しかしさらなる壮麗さをともなうて来られる。このお方はご自分の御父の栄光を持って来られる。そしてすべての聖天使たちがこのお方と共に、このお方の道を先導して来る。このお方の聖なるこめかみを刺す残酷なとげの冠の代わりに、このおかたの聖なる額をまばゆく輝く栄光の冠が飾っている。このお方はその時には、悲しみの人や病を知っているお方として来られるのではない。そうではなく、このお方のみ顔は真昼の太陽よりも明るく輝くのである。このお方は縫い目のない質素な衣ではなく、雪よりも白い一輝く光の一衣を着ておられるのである。」(ユース・インストラクター 1854 年 4 月 1 日)

4. このお方の来臨を切望する

- a. ルターの説教においてどのメッセージが、最終的なさばきの時に関するパウロの教えと共鳴していますか（ヘブル 9:27）。

「ルターは次のように言った。『わたしは、今後三百年もすれば必ず、審判の日が来ると確信する。神は、この邪悪な世界を長く 忍ぶことはなさらないであろうし、また、おできにならないのである。』『悪虐な王国を打ち砕く大いなる日が近づいている。』（各時代の大家争闘上巻 390）

- b. 他の改革者たちはどの確信を持っていましたか。また今日、同様に何がわたしたちの主たる優先事項となるべきですか（黙示録 16:15）。

「『この古びた世界は、終末から遠くない』とメランヒトンと言った。カルバンは、『キリストの再臨を、あらゆる事件中の最も喜ばしいものとして、ためらわず、熱心に待望するよう』キリスト者に命じ、『忠実なものの家族全員が、その日を待望するように』勧めている。『われわれは、主がみ国の栄光を十分にあらわされる大いなる日の夜明けまで、飢えかわくようにキリストを求め、たずね、瞑想しなければならない』と彼は言っている。」

「『われわれの主イエスは、われわれの肉体を天にたずさえて行かれたのではなかったか。そして彼は、帰って来られないであろうか。われわれは、彼が帰って来られること、しかもそれが速やかであることを知っている』とスコットランドの改革者ノックスは言った。真理のために生命をささげたりドリとラチマーは、主の再臨を信じて待ち望んだ。『わたしは、この事を信じるから言うのであるが、この世界は疑いもなく終末に近づいている。われわれは、神のしもべヨハネと共に、来てください、主イエスよ、来てくださいと、われわれの救い主キリストに向かって、心の中で叫ぼう』とドリは書いた。」（各時代の大家争闘上巻 390）

「わたしたちの世界へのキリストの来臨は長く遅れることはない。これがすべてのメッセージの基調となるようにしよう。

キリストの再臨という祝福された望みは、その厳粛な現実性と共に、しばしば民に提示される必要がある。まもないわたしたちの主の出現を待ち望むことによって、わたしたちは地上の事柄を空虚で無に等しいものとみなすようになる。……

今、主の僕たちは、預言者ダニエルによって言われたように『定められた時は長い』と言うことはできない（ダニエル 10:1 英語訳）。今や、神のための証人たちが主の道を備えることにおいて自分たちの働きを成し遂げるまでに短い時間しかない。（教会への証 6 巻 406）

5. 約束の日を活動的に待っている

- a. 主人が戻られるときに平安のうちにお会いすることについて真剣なすべての人の責任を説明しなさい (アモス 4:12 (下句) ; ゼパニヤ 2:3)。

「キリストは『わたしは、あなたのわざ……を知っている』と言われる (黙示録 2:2)。このお方はあなたが完全な生涯を送っているか、ご自分のことを語り、考えることを愛するか、またはご自分を賛美することがあなたの喜びであるかどうかをご存じである。わたしたちはついには天へ着き、天の聖歌隊に加わることを期待するであろうか。品性に関する限り、わたしたちは墓に下った通りに出てくるのである。……今こそ、洗い、アイロンをかけるための時である。わたしたちの衣を洗い、それを小羊の血によって白くするための時間である。

役人がキリストのところへ来て、『永遠の命を受け継ぐために、わたしは何をしたらよいでしょうか』と尋ねたときに、答えは『戒めを守りなさい』であった。ここで役人は明確な質問をしたが、彼はそれとまったく同様に明確な答えを得たのである。」(原稿リ-ス 9 巻 262)

- b. キリストがまもなく来られるというこのお方の約束をまごころから大事にしているすべての人の深い心情はどのようなものですか (黙示録 22:20)。

「わたしは御座に座しておられるお方に誉を帰したい。わたしは天の宮廷中に自分の声をこだまさせ、響き渡らせたい。あなたはそこにいたいであろうか。そうであれば、あなたは自分の声がこの地上でこのお方を賛美するよう教育しなければならない。そうすれば、あなたは天の聖歌隊に加わり、モーセと小羊の歌をうたうことができる。神がわたしたちを助け、わたしたちをあらゆる徳と力に満たして下さる。そしてそのとき、わたしたちは来たるべき世界の喜びを味わうことができるのである。」(E.V.・G. 叔仆 1888 年原稿 128)

個人的な復習問題

1. わたしは自分が主の再臨を切望する深さについて何を考えるべきですか。
2. イエスの来臨に関する約束は、なぜわたしたちに力を与えるはずですか。
3. この真理を他の人々に伝える真の願いを培うことは、なぜ重要なのですか。
4. 16 世紀の改革者たちは、どのようにキリストの再臨を信じる信仰を鼓舞しましたか。
5. わたしたちは信仰によって救われますが、何がわたしたちの信仰における真の献身を明らかにしますか。

キリストの来臨のしるし

「このようにあなたがたも、これらの事が起るのを見たなら、神の国が近いのだと
さとりなさい。」(ルカ 21:31)

「キリストはご自分の民に、彼の再臨のしるしによく注意し、来たるべき王のしるし
が見えたならば喜べとお命じになった。」(各時代の大争闘上巻 397)

推奨文献： 各時代の大争闘上巻 18-27, 391-406, 同下巻 22, 23

日曜日

7月2日

1. 来臨の出来事の予告編

- a. 人の子は当時存在していた壮大な宮について、どのようなこと一弟子たちが思い
測ることのできなかった出来事—を予告なさいましたか(マタイ 24:1, 2)。

「キリストの注意が宮の壮麗さにひきつけられた時、こぼまれたこのおかたの無言
の思いはどんなであつたろう。なるほど主の目の前の景色は美しかったが、主は、悲
しみをこめて、わたしには何もかもわかっていると言われた。なるほど建物はすばら
しい。あなたがたはこの壁をさして、破壊されそうにみえないと言うが、わたしのこと
ばを聞きなさい。『その石一つでもくずされずに、そこに他の石の上に残ることもなく
なる』日がくるのである(マタイ 24:2)。(各時代の希望下巻 91, 92)

- b. どの質問が弟子たちの関心を引きましたか。またこれはどのように世の終わりに
関するキリストの預言と混じりあっていましたか(マタイ 24:3)。

「エルサレムの滅亡というと、弟子たちは、キリストが世界国家の王座につき、かた
くなユダヤ人を罰し、国家をローマのくびきから解放するために、この世の栄光の
うちに来られるときのできごとを連想した。主は彼らに、ご自分がもう一度こられる
ことを語っておられたから、彼がエルサレムの滅亡のことを言われた時、彼らはその
再臨のことを思った。」(各時代の大争闘上巻 11, 12)

2. キリストの昇天後、成就した預言

- a. イエスがちょうど預言した通り、紀元 70 年における宮の運命の霊的な意義から、わたしたちはどの警告に注意を払うべきですか (イザヤ 30:12, 13)。

「ユダヤの指導者たちの盲目的頑強さと、城内で行なわれた憎むべき犯罪とが、ローマ人の恐怖と激怒をあい、……怒り狂った兵隊たちは、神殿に隣接したへやにたいまつを投げ込み、そこに避難していた多くの者を剣にかけて殺した。血が神殿の階段を川のように流れた。幾千というユダヤ人が死んだ。戦いの物音に混じって、『イカボデ』一栄光は去ったと叫ぶ声が聞こえた。」(各時代の犬争闘上巻 21)

「都も神殿とともに完全に破壊され、神殿の跡は、『畑のように耕され』た (エレミヤ書 26:18)。」(同上 24)

- b. どのようにイエスの言葉に注意を払った者だけが救われたかということから、わたしたちが集めることのできる興味深い点をいくつか挙げなさい (ルカ 21:20-22; 詩篇 27:5)。

「また、七年の間、ひとりの男がエルサレムの町をあちこちとめぐって、都に下る災いについて叫びつづけた。……この不思議な男は投獄されて、きびしく罰せられたが、一言もつぶやきの言葉をもらさなかった。彼は、侮辱とものしりに対して、『エルサレムは、わざわいだ、わざわいだ。』『エルサレムの住民はわざわいだ、わざわいだ』と答えるだけであった。彼の警告の叫びは、彼が自分の予告したその包囲のなかで殺されるまでやまなかった。

エルサレムが滅亡したとき、キリスト者はひとりも死ななかった。キリストが弟子たちに警告を発しておられたので、彼のみ言葉を信じたものは、みな、約束のしるしに注意していた。〔ルカ 21:20-22 引用〕」(各時代の犬争闘上巻 17, 18)

「〔ルカ 21:20-22 引用〕この警告は、40 年のちすなわちエルサレムの滅亡の時に注意するように与えられたのであった。……

『あなたがたの逃げるのが、冬または安息日にならないように祈れ。』(マタイ 24:20) ……キリストが十字架につけられてから 40 年のちにも、それは依然として聖なるものとみなされるのであった。弟子たちは逃げるのが安息日に起こらないように、40 年の間祈るのであった。」(各時代の希望下巻 95)

3. 預言的な時の期間―暗黒時代

- a. 紀元 70 年のエルサレムの街の全面的な破壊後、信徒たちに最終的に何が起きますか (マタイ 24:21, 22)。

「キリストの話は、エルサレムの滅亡から、この地上歴史の鎖の最後の環であるもっと大きな事件、すなわち神のみ子が威厳と栄光のうちに来臨されることに急速に移って行った。この二つの事件の間に、長い暗黒の世紀、キリストの教会に血と涙と苦悩のみられる幾世紀が、キリストの目の前に開かれていた。」(各時代の希望下巻 95, 96)

- b. 黙示録の書の預言の中で、この同じ歴史的な苦難の期間は、どのように描かれていますか (黙示録 11:2, 3; 13:5)。

- c. 預言的な計算は一年が 360 日であり一か月が 30 日であることを念頭におきつつ、預言的な時についてこの期間の実際の長さをどう数学的に計算すべきかを理解するために、どの聖書的なガイドラインが助けとなりますか (民数記 14:34; エゼキエル 4:6)。

「ローマ統治下における聖書の弾圧、その弾圧の恐るべき結果、そして最終的に神のみ言葉が高められることが、預言のペンによってまざまざと描写されている。孤独なパトモス島に追放されていたヨハネに、法王権が神のみ言葉を踏みにじることが許される 1260 年に関する幻が与えられた。」(預言の霊 4 巻 188)

「42 か月は、ダニエル書 7 章の『ひと時と、ふた時と、半時の間』、つまり 3 年半、すなわち 1260 日と同じで、その期間のあいだ、法王権は神の民を圧迫するのであった。この期間は、すでに述べたように、法王権が至上権を握った紀元 538 年に始まり、1798 年に終わった。この時、法王はフランス軍の捕虜になり、法王権は致命的な傷を受けた。『とりこになるべき者は、とりこになっていく』(黙示録 13:10)。(各時代の大争闘下巻 158)

4. 三つの重要な出来事

- a. 1260 年の預言的な期間が終わる直前に（なぜなら、実際の迫害は「短くされていた」ため）、自然界におけるどのしるしが、イエスの来臨が近いことを示していましたか（マタイ 24:29, 30; マルコ 13:24-26; 黙示録 6:12, 13）。
- b. これらの預言を一つ一つ吟味するとき、靈感と歴史の記録によれば、何が最初に起こりましたか（黙示録 6:12）。

「この〔黙示録 6:12 の〕預言の成就として、1755 年に、これまでの記録を破る恐ろしい地震が起きた。これは、一般にリスボンの地震と言われているが、ヨーロッパの大部分、アフリカ、アメリカにも及んだ。グリーンランド、西インド諸島、マデイラ島、ノルウェー、スウェーデン、大ブリテン（英国）、アイルランドでも感じられた。その範囲は、四百万平方マイルに及んだ。」（各時代の大事業闘上巻 391, 392）

- c. 太陽と月に関する預言はどのように成就しましたか（マルコ 13:24）。

「1260 日、すなわち 1260 年は、1798 年に終わった。その四半世紀前に、迫害はほぼ完全にやんでいた。キリストの言葉によれば、この迫害のあとで日が暗くなるのであった。」（同上 393）

「1780 年 5 月 19 日は、歴史上『暗黒日』となっている。モーセの時代以来、これほどの濃さと広さと時間的長さをもった暗黒は、記録されていない。目撃者によるこの事件の描写は、……主の言葉のくり返しに過ぎない。『主の大いなる恐るべき日が来る前に、日は暗く、月は血に変わる』（ヨエル書 2:31)。」（同上 396）

- d. 星に関する預言はどのように成就しましたか（マルコ 13:25; 黙示録 6:13）。

「〔黙示録 6:13 引用〕。この預言は、1833 年 11 月 13 日の大流星雨によって、顕著にまた印象的に成就した。これは、有史以来の最も広範囲に及ぶ驚くべき流星の光景であった。『その時、全米の空全体が、数時間にわたって燦然と輝いた』」（同上 下巻 22）

5. 影響を及ぼすために備えられた

- a. キリストがご自分の来臨に近いしるしとしてお与えになった三つの大きな自然界の出来事のほかに、いくつかしるしを挙げなさい。またどのようにそれらがますます急速に成就しているかを説明しなさい（マタイ 24:6-12; マルコ 13:7-9; ルカ 21:9-11, 25-27）。
- b. これらのしるしを見ているときに、わたしたちは何を思い出すべきですか（ルカ 17:26; エレミヤ 8:11, 12）。

「陸海の災難、地震、洪水、災害は増していくであろう。神は今日の世界を、ノアの時代の世界のようにご覧になっている。このお方は今日、ノアの時代のように、民にご自分のメッセージを送っておられる。世のこの時代に、洪水前の世界の邪悪さが繰り返されている。」（仲保者 1900 年 12 月 1 日）

- c. わたしたちはなぜ預言が成就しつつあることによって励まされることができますか（サムエル上 12:16; ペテロ第一 2:9）。

「再臨の教義を受け入れたものは、神の前に悔い改めてへりくだることの必要を自覚した。キリストと世との間をためらっていたものが多くいたが、今こそ決心すべき時であると感じた。『彼らには、永遠に関することが、これまでになく現実のものとなった。天は近くなり、神の前に自分たちの罪深さを感じた』。……キリスト者は、新しい霊的生命に活気づいた。彼らは、時間が短いことを感じ、同胞のためになすべきことは、速やかにしなければならないと感じた。」（各時代の争闘下巻 30）

個人的な復習問題

1. 紀元 70 年に、なぜ神は壮大な宮が破壊されることを許されたのですか。
2. なぜ、エルサレムに対して苦悩を宣告していた唯一の人は救われなかったのですか。
3. 預言的な一日はしばしば一年であることが、どのようにわかりますか。
4. キリストのまもない来臨についての大きな三つの画期的なしるしの日にちを挙げなさい。
5. しるしが成就しつつあるのを見ると、それらはわたしにどのような影響を及ぼすべきですか。

わたしたちの時代のための 警告のメッセージ

「もし万軍の主が、われわれに少しの生存者を残されなかったなら、われわれはソドムのようになり、またゴモラと同じようになったであろう。」（イザヤ 1:9）

「人々の間にはびこっている罪惡から離れることを神の民に命じる神の警告の声が、ふたたび聞こえるのである。」（人類のあけぼの上巻 175）

推奨文献： 各時代の大争闘上巻 345
人類のあけぼの上巻 163 ～ 180

日曜日

7月9日

1. わたしたちが生きている時代

- a. イエスは世の歴史におけるどの時代とわたしたちの時代を比較されましたか（マタイ 24:37-39; 創世記 6:5, 13）。

「ノアの時代に神の怒りを世にもたらしたのと同じ罪が、わたしたちの時代にも存在している。男女は自分たちの飲食を暴食と泥酔にまで至らせている。この蔓延している罪、ゆがめられた食欲の放縦がノアの時代の人の情欲を燃え上がらせ、全般的な墮落へと導き、彼らの暴力と犯罪は天にまで及んだ。そして神は地の道徳的な汚れを洪水によって洗い流されたのであった。」（教会への証 3 巻 163）

- b. 今日、信徒たちは何に直面しますか（ペテロ第二 3:3-6）。

「世は放とうに満ち、邪惡な快樂に満ちて、現世的な安全の中に眠っている。人々は主の來臨をずっとのちのことにしている。彼らは警告をあざ笑う。」（各時代の希望 下巻 104）

2. 驚くべき出来事から学ぶ

- a. この終わりの時代とノアの時代を比較されたほかに、主はどのような歴史的な光景と、主の来臨の時とを比較されましたか (ルカ 17:28-30)。

「今の世界はロトの時代に存在していた状態と似ている。そのときのソドムの墮落ぶりは、その邪悪な街に天使の訪問を要求した。すなわち、天の前にのぼった叫びは、美しいソドム—かつては神から非常に恩寵を受けた都市—の住民の道が主の前にあまりにも墮落し、その贖いの希望がないほどの性質のものかを調べるためであった。ソドム人の墮落があまりにも深刻であったために、神の怒りは著しく表わされた。」(ザン・ユニオン・ワーカー 1913 年 10 月 16 日)

- b. ロトの時代に、どの罪が目立っていましたか (創世記 19:5-7; ローマ 1:21, 26, 27)。

「[ソドム人] はロトの家の周りに群がり、人の群れが増えるにつれ、人々の間に存在していた墮落の状態を明らかにする邪悪な言葉が語られた。そして最悪な提案が受け入れられ、実行されたのであった。群衆は旅人を彼らに渡すようにとの叫びでますます騒々しくなった。なぜなら、彼らは邪悪な情欲の放縦を通して、あまりにも低俗になっていたため、すべての良い思想は根こそぎにされており、理性はあまりにも曇って、天の使たちに対してでさえ、乱暴を働こうとしたのであった。」(ザンズ・オブ・タイムズ 1893 年 10 月 9 日)

- c. なぜソドムの運命は、すべての人にとって警告なのですか (創世記 19:24-26; ルカ 17:32, 33)。

「天使たちは都市の中に墮落していない人があるかどうか、ソドムを脅かしていた差し迫った運命から逃れるよう説得される人がいるかどうかを調べるために来なければならなかった。悪を行う者たちが自分たちの悪の杯の最後の一滴を増し加えた夜、神の怒りはもはや延ばされなかった。」(ザンズ・オブ・タイムズ 1893 年 10 月 9 日)

「ロトに与えられた警告は、この墮落した時代に生存しているわたしたちにまで及んでいる。『のがれて、自分の命を救いなさい』。誘惑者の声は平和と安全を叫んでいる。悪者は、あなたが恐れるものは何もないと感じよう願っており、あなたに食べ、飲み、楽しむようにと命じる。あなたはどちらの声に注意を払うであろうか。天の声であろうか、あるいはあなたを破滅へと寝かしつける声であろうか。」(同上 1893 年 10 月 16 日)

3. わたしたちの命のより良い管理者となる

a. ソドムの霊的な下落について、どの警告が与えられていますか (エゼキエル 16:49)。

「あまりにも長い間、神聖な導きと保護を拒んできた人々は、軽率と利己的な娯楽の道へと突進している。しかり、それよりもさらに低俗な行為と体を汚す道へ入り込んでいる。その結果、彼らの思いは汚され、宗教は彼らにとって不快なものである。ある人々はあまりにもこの下降の道へ入り込みすぎて、熱心にソダム人の道へと従ってきたため、今日ほとんどのろわれるばかりとなり、譴責と警告の声は彼らにとってむだになるのである。」(教会への証 5 巻 39)

b. 大いなる光を委ねられているわたしたちは、ソダムの人々よりもっと、どれほど真剣に墮落に対して警告されていますか (ホセア 4:6; 箴言 1:24-30, 33)。

「世の贖い主、人の友なる憐れみ深いお方は、わたしたちの目にソダムの罪よりも大きな罪があるという事実を明らかにされる。それはより大きな光に対して罪を犯す罪である。悔い改めてキリストを信じる信仰を持つようにとの福音の招きを聞きながら、注意を払ってこなかった人々にとって、罪はソダムの罪よりも大きいのである。イエスの名を公言してきた人々、神を知っていると公言し、このお方の戒めを守っていると公言しながら、自分の生活と品性においてキリストを誤り伝えてきた人々、警告され、嘆願されながら、なお自分たちの献身していない生活によって自分の贖い主を辱めている人は、罪がソダムの罪よりも大きいのである。」(サイン・オブ・タイムズ 1893 年 10 月 16 日)

「真理を信じると公言している多くの人々は、洪水前の人々やソダムの人々とまったく同様に、自分たちの思想の中に神を求めていないのである。一つ神についての意識的な思想が聖霊によって目覚めさせられると、彼らのすべての計画を損なうことになる。自己、自己、自己が彼らの神、彼らのアルパでありオメガとなってきた。」(管理者への勧告 141)

「ソダムの罪がわたしたちの時代に繰り返されている。そして地はその住民たちの下で破壊され、墮落させられている。しかし、今日の邪悪の最悪の特徴は、信心の力のない信心の形式である。大いなる光を持っていると公言している人々が不注意で無関心な人々の間に見出される。そしてキリストのみ事業は公言するその友人たちの家で傷つけられるのである。」(サイン・オブ・タイムズ 1893 年 10 月 16 日)

4. より良い優先事項を選ぶ

- a. 自分の家族を下降の道へ導いたロトの過ちを避けるために、わたしたちは何を悟らなければなりませんか（創世記 13:12, 13; 19:30-38; コリント第一 15:33）。

「ソドムが神の律法を犯して腐敗したのは、特に放縱の点で著しかった。」（各時代の大争闘上巻 345）

「ロトはソドムに移ったとき、自分を罪惡から守り、家族を自分に従わせる堅い決心であった。しかし、彼は、明らかに失敗した。周囲の腐敗的勢力は、彼自身の信仰に影響を及ぼした。そして彼の子供たちがソドムの住民と結ばれたために、彼もいくぶんか彼らと利害をともにするようになった。その結果は、われわれの知るとおりである。

今日も同様のまちがいをくりかえす者が多い。彼らは住宅を選ぶ場合に、彼らと家族をとりまく道徳的、社会的影響よりは、物質的利益のほうを重くみる。彼らは、美しく肥沃な土地を選ぶ。または、もっと繁栄を確保することを望んで、繁華な都市に移転する。しかし、子供たちは誘惑にかこまれる。そして、彼らは敬虔の念を養い、正しい品性を形成するには不利な友人を持つ場合が多い。低い道徳観念、不信仰、宗教に関する無関心などのふんい気は、親の感化を中和させる傾向がある。親や神の權威に対する反抗の実例は、常に青年たちの前にある。多くの者は、無神論者や未信者と親しくなり、神の敵と運命をともにする。

神はわれわれが住宅を選ぶとき、自分たちと家族をとりまく、道徳的、宗教的感化を、まず考慮することを望まれる。希望する環境を持つことができない者が多いから、われわれは苦しい立場に立たされる。もし、われわれが、キリストの恵みにたより、目をさまして祈っているならば、どのような所に召されても、神は、われわれを汚れに染むことなく立たせてくださるのである。しかし、クリスチャン品性の形成に不利な環境に、わざわざ身をさらしてはならない。われわれが進んで世俗と不信仰のふんい気のなかにはいれば、神の不興を招き、家庭から聖天使を追い出す。」（人類のあけぼの上巻 177, 178）

- b. 今日の文化の特徴となっている典型的な態度を避けなければならないさまざまな理由を挙げなさい（テモテ第二 3:1-5; イザヤ 1:9）。

5. より安全な環境を選ぶ

- a. 神の民がどこで繁栄できるかについて、神は何と言われますか（イザヤ 32:18, 19）。

「わたしの警告は、都市から離れていなさいということである。諸都市の中に治療院を建ててはならない。わたしたちの民を諸都市から出て田舎へ行くよう教育しなさい。そこでは、彼らは小さな土地を持ち、自分や子供たちのために家庭を築くことができる。……

わたしたちのレストランは諸都市の中になければならない。なぜなら、そうでなければこれらのレストランの働き人たちは人々に接触することができず、正しい生活の原則を教えることができないからである。そしてさしあたって、わたしたちは諸都市の中で集会所を使用しなければならないであろう。しかし、まもなく、諸都市にはそこから離れた人々ができなくなるような紛争と混乱が起こるであろう。」（世界総会冊子 1903 年 4 月 6 日）

「親は耕作のための土地のある小さな家庭を田舎に確保することができる。そこで彼らは果樹園を持ち、肉の食事に代わる野菜や小さな果物を育てることができる。動物の肉は血管をめぐる命の血液にとって非常に不健全なものである。そのような場所では、子供たちは都市生活の墮落した感化に囲まれることはない。神はご自分の民が諸都市の外にそのような家庭を見出すのを助けて下さる。」（医事伝道 310）

- b. なぜわたしたちは田舎の生活への訴えに注意を払わなければなりませんか（箴言 15:31, 32）。

「それは、罪人から断固として離れて、命がけで出て来ることであった。ノアのときも、ロトのときも同じであった。エルサレムの滅亡前の弟子たちも同じであった。そして、最後の時代にも同様である。」（人類のあけぼの上巻 175）

個人的な復習問題

1. キリストの来臨を嘲る人々を目の前にして、わたしたちは何を心に留めているべきですか。
2. なぜすべての人はソドムとゴモラの歴史に注意を払う必要があるのですか。
3. 神の民にこれらの諸都市の運命は、どのような影響を及ぼすべきですか。
4. わたしはロトの過ちを繰り返す危険のうちにあるでしょうか。もしそうだとすれば、どのようにですか。
5. 田舎の生活の益は何ですか。

終わりの時代の誤った考え

「にせキリストたちや、にせ預言者たちが起って、大いなるしるしと奇跡とを行い、できれば、選民をも惑わそうとするであろう。」(マタイ 24:24)

「聖書の教理として提示されるようになる危険な異端がある。であるから、わたしたちはそれらにどのように対処すべきかを知るために聖書に精通しなければならない。一人ひとり個人の信仰が試されることになる。」(伝道 590, 591)

推奨文献： 国と指導者上巻 178-181

日曜日

7月16日

1. 警戒が必要とされている

- a. イエスのまもない再臨を信じている多くのまじめな魂を誘惑するために、魂の敵はどの戦略を用いますか (マタイ 24:11, 24)。

「サタンの使たちは悪を行うのに賢く、彼らはある人々が先端的な光であると主張し、それを新しく驚くべきものとして宣言するようなものを作り出すであろう。ある面においてそのメッセージは真理かもしれないが、それは人間の考案が混じっており、人間の戒めを教理として教えるのである。もし本当に真剣に見張り、祈るべき時があるとすれば、それは今である。一見良いことにみえるたくさんの事柄を、多くの祈りをもって注意深く考慮する必要がある。なぜなら、魂を真理とほとんど見分けがつかないような真理の道のすぐそばに敷かれた道へ導く敵の見かけ倒しの戦略があるからである。」(伝道 590)

「神の御霊の証は真実である。どれほど好ましく見えたとしても、魂を誘惑する教理のどの面のためにも、あなたの信仰を変えてはならない。

サタンの誤謬は今や増し加わっている。そして真理の道からそれる人々は自分の位置を見失うであろう。錨を下すところがなく、彼らは一つの惑わしから別の惑わしへと流され、異なった教理の風に吹きまかれるのである。サタンは大いなる力をもって下ってくる。」(同上 362)

2. 危険な惑わし

- a. モーセの時代に欺瞞的な策略として用いられ、今日も繰り返される神の敵に用いられる巧みな計略を説明しなさい (出エジプト記 7:10-13; テモテ第二 3:5-9)。

「魔術師たちも、しるしや不思議を行なったが、彼らは自分たちの力だけで行なったのではなく、主のわざに対抗するために、彼らに助けを与えた彼らの神、サタンの力によるものであった。

魔術師たちは、ほんとうに彼らのつえをへびに変えたのではなかった。彼らは、大いなる欺瞞者の助けを得て、魔術を用いてへびのように見せかけることができたのであった。つえを生きたへびに変えることは、サタンの力の及ばないことである。悪の君は、墮落天使の知恵と能力をことごとく身につけているとはいえ、創造する力、すなわち、生命を与える力は持っていない。これは、ただ神のみの特権である。しかし、サタンは自分の力でできることはことごとく行ない、にせものをつくり出した。つえは、人間の目にはへびに変わって見えた。パロと廷臣は、それらがへびであると信じていた。」(人類のあけぼの上巻 301)

- b. 魂の敵は、まもなくどの欺瞞を用いるようになりますか (黙示録 13:13)。

「サタンの代理者たちが人の目をごまかして行なうようなことによってではなく、実際に彼らが行なう力をもっているその奇跡によって、人々は欺かれるのである。」(各時代の大争闘下巻 307)

- c. キリストは魔術について、どのような警告と共に、預言なさいましたか (マタイ 24:25, 26)。

「幾千の人々がキリストをみいだそうと望んで荒野へ行かなかっただろうか。人々が死んだ靈魂とまじわるのだと称している幾千の集会から、『見よ、彼はへやの中にいる』という叫びがいま聞こえないだろうか。これは降神術が叫んでいる主張である。」(各時代の希望下巻 97)

- d. 世界中で魔法にかけるような心靈術に対する預言が成就しつつあるのを見るとき、何を悟らなければなりませんか (エペソ 6:11, 12)。

3. 本物そっくりの奇跡と幽霊

- a. 終わりが近づくにつれ、わたしたちにしるしや不思議に信頼することを避けるために、特にどの警告が与えられていますか。また、それはなぜですか(マタイ 24:4, 5, 11, 24, 25)。

「神の民が終わりの時代の危険に近づくにつれ、彼らの信仰をくつがえすために最も成功する計画について、サタンは自分の使たちと熱心に協議する。彼は人気のある諸教会がすでに自分の欺瞞的な力によって寝かしつけられていることを見る。喜ばせるような詭弁や偽りの不思議によって、彼は諸教会を自分の支配下に置き続けることができる。そこで、彼は自分の使たちに、特別にキリストの再臨を待ち望み、神のすべての戒めを守ろうと努力している人々のために、自分たちのわなを仕掛けるよう命じるのである。

わたしたちは終わりの時代に彼がしるしと偽りの不思議とをもって働くことを警告されている。そして彼はそれらを自分が闇ではなく光の天使である証拠として指し示すために、これらの不思議を恩恵期間の終わるまで続けるのである。……

ある人々はこれらを神からのしるしとして受け入れるように誘惑される。病人がわたしたちの前で癒されるであろう。奇跡がわたしたちの知っている前で行われる。わたしたちは、自分たちの前に待ち受けているサタンの偽りの不思議がもっと完全に表わされるときを試練のために準備ができていようであろうか。多くの魂がわなにかかり、とらえられるのではないだろうか。神の明白な規則と戒めから離れ、作り話に注意を払うことによって、多くの人々の思いはこれらの偽りの不思議を受け入れる準備をしている。わたしたちは今、まもなく従事しなければならない争闘のために自ら武器に身を固めるよう努めなければならない。祈りをもって研究され、実際に適用される神のみ言葉を信じる信仰が、わたしたちをサタンの力からかくまい、キリストの血を通してわたしたちを勝利者として救出するのである。」(主は来られる 208)

- b. なぜわたしたちはサタンがよく用いる魔術的な策略の一つに注意を払う必要があるのですか(テサロニケ第二 2:9-12; 伝道の書 9:5, 6)。

「サタンは人々の前に、彼らの死んだ友人たちの姿をあらわす力を持っている。その偽者は完全である。見なれた表情や言葉や声の調子などが、信じられないほどの正確さをもって再現される。多くの者は、自分たちの愛する者が天の無上の幸福を味わっていると信じて慰められる。そして危険を少しも感じないで、『惑わす霊と悪霊の教え』に耳を傾けるのである」(テモテ第一 4:1)。(各時代の大争闘下巻 305)

3. 耳ざわりの良い簡単な偽物を避ける

- a. ノアの説教は、わたしたちが—健康について委ねられた光を含む—現代の真理を教えるときに、どのように関連していますか (ルカ 17:26, 27; ペテロ第一 2:11)。

「ノアは当時の人々に、神が彼らに自分の罪を悔い改め、箱舟の中に避難所を見出すための120年を与えて下さるということを宣べ伝えた。しかし、彼らは恵み深い招待を拒んだ。彼らには自分たちの罪を悔い改め、悪習慣を克服し、義なる品性を発達させるための十分な時間が与えられた。しかし、罪への傾向は、多くの人々にとってははじめは弱かったが、繰り返される放縱を通して強められ、彼らを取り返しのつかない破滅へと急ぎ立てたのであった。」(ビュ・アンド・ハルド 1885年10月20日)

- b. 耳ざわりの良い簡単な道の代わりに、なぜ神は自己否定を要求する品性建設の健康のメッセージをわたしたちにお与えになったのですか (マタイ 7:13-15)。

「サタンは奇跡を働くようになる。彼は人々を病気にして、それから突然彼らから自分の悪魔的な力を取り除くのである。彼らはそのとき、癒されたとみなされる。これらの一見癒しとみえる働きはセブンスデーアドベンチストにテストをもたらすであろう。」(主は来られる 209)

「キリストが働かれた方法は、み言葉を説き、奇跡的な癒しのわざによって苦しみから救済することであった。しかし、わたしたちは今、この方法では働くことができないことを教えられている。なぜなら、サタンが奇跡を働くことによって自分の力を発揮するからである。神の僕たちは今日、奇跡という手段によって働くことはできない。なぜなら、偽の癒しの働きが、神聖なものだと主張して、行われるようになるからである。

この理由のために、主はご自分の民が、み言葉の教えと結合して実行すべき身体的な癒しの働きの方法をはっきり示された。治療院が設立されなければならない。そしてこれらの施設は、本物の医事伝道の働きを推し進める働き人たちと結合しなければならない。こうして治療のために治療院に来る人々の周りに保護する感化力が取り囲むのである。

これが多くの魂のためになされるべき福音の医事伝道の働きのための主の備えである。これらの施設は郊外に設立されなければならない。そしてその中で教育的な働きが知的に進められなければならない。」(医事伝道 14)

5. 見ることが信じることであってはならない！

a. サタンが働く究極的な惑わしを描写しなさい (コリント第二 11:14)。

「欺瞞の一大ドラマの傑作として、サタン自身がキリストの役を演じる。教会は長い間、救い主の再臨をその希望の達成として待ち望んでいると公言してきた。今、大欺瞞者はキリストが来られたように見せかけるのである。地上のさまざまな場所で、サタンは自らを黙示録の中でヨハネによって与えられている神の御子の描写に似せて、人々の間でまばゆく輝く威厳のある存在として現す。黙示録 1:13-15。彼を取り巻く栄光はこれまで死すべき人間が眺めたことのある何ものよりもはるかにまざっている。勝利の叫びが空中に鳴り渡る、『キリストが来られた！キリストが来られた！』人々は彼の前に崇敬のうちに額づき、一方彼は自分の手を挙げて、キリストが地上におられたときにご自分の弟子たちを祝福されたように、彼らに祝福を宣言するのである。彼の声はやわらかく、抑えられていながら、音楽のようである。優しい同情に満ちた声音で、救い主が言われた同じ恵み深い天来の真理のいくつかを提示し、民の病気を癒し、それから、うわべだけキリストの品性をもって、彼は安息日を日曜日に変えたと宣言し、すべての人に自分が祝福した日を聖とするように命じる。彼は、あくまでも第七日目をきよく守る人々は、光と真理をもって自分たちに遣わされた彼の天使たちに耳を傾けることを拒むことによって、彼の名を汚しているのだと宣言する。これは強力な、ほとんど圧倒的な惑わしである。」(主は来られる 276)

b. そのような危険を見ながら、わたしたちは何に焦点を当てなくてはなりませんか(コリント第二 4:8-10, 18)。

個人的な復習問題

1. 終わりの時に、なぜ現代の真理の聖書の教理は、非常に重要なのですか。
2. わたしたちはパロの魔術者たちの一見奇跡とみえることを、どのように説明できますか。
3. 大敵の策略のいくつか、とくに神の残りの民に向けられた策略のいくつかを挙げなさい。
4. 全般的な規則として、なぜわたしたちは今日即座の癒しを期待しないように勧告されているのですか。
5. わたしたちは差し迫っているキリストのまもない再臨の偽ものをどのように特定すべきですか。

イエスは本当に再び来られる！

「またきて、あなたがたをわたしのところに迎えよう。わたしのおる所にあなたがたもおらせるためである。」(ヨハネ 14:3)

「聖書に啓示された最も厳粛で、最も輝かしい真理の一つは、キリストが、贖罪の大きな業を完成するためにふたたび来られるという真理である。」(各時代の大争闘 上巻 385)

推奨文献：初代文集 60-68, 460, 461

日曜日

7月23日

1. 見よ、彼が来られる！

a. 聖書によれば、イエスの来臨はどのような様ですか(使徒行伝 1:11)。

「イエスの昇天において弟子たちにとって最も尊いことは、このお方が自分たちの神聖な教師として触れるお姿で彼らから去って天へ行かれたという事実であった。まさに彼らと共に歩み、語り、祈られたその同じイエス……が人間のかたちをもって天へ昇られたのであった。そして天からの使者たちは、彼らが天に昇るのを見たその同じイエスが、再び昇られたのと同じ様で戻ってこられることを保証していた。この保証こそ、これまでもまた時の終わりまでも、真にキリストを愛するすべての人の望みであり、喜びである。」(預言の霊 3 巻 254)

b. だれに、イエスの来臨は見えますか(黙示録 1:7; マタイ 24:30)。

「キリストをあざけり、打ちたたいた人たちもそこにいる。祭司たちと役人たちは、ふたたびあの法廷の光景を見る。あらゆる出来事が、火の文字で書かれているかのように、彼らの前に現われる。「その血の責任はわれわれとわれわれの子孫の上にかかってもよい」と祈った人たちは、この時、その祈りの答を受けるのである。その時全世界は、知り、そして理解する。」(各時代の希望下巻 256)

2. 驚くべき望み

- a. イエスの来臨の目的は何ですか。またわたしたちのこの恐るべき最高の出来事に対する確信は、わたしたちにどのように影響を及ぼしますか (ヨハネ 14:1-3)。

「救い主を本当に愛する人々は、神のみ言葉に基づいたメッセージ、すなわち自分たちの永遠の命の希望が集中しているお方が、初臨の時のように侮辱され、蔑まれ、拒まれるためではなく、ご自分の民を贖うために力と栄光のうちに再び来られるというメッセージに喜びをもって歓呼しないではいられない。キリストの来臨の宣布は、バツレヘムの羊飼いたちに対して御使たちがしたように、今も大いなる喜びの良い知らせとされるべきである。この天来のメッセージによってかき立てられる苛立ちや憎しみほど、諸教会が神から離れたという決定的な証拠はない。

救い主が長く離れていることを願い、『自分の主人は帰りがおそい』（マタイ 24:48）という不忠実な僕の証を熱心に受け入れるのは、救い主を愛していない人々である。彼らはこれらの事がはたしてその通りかを知るために聖書を探ることを拒む一方で、キリストの来臨をはるかかなたへ延ばすか、あるいは霊的なものにしてエルサレムの破滅の時に成就したか、あるいは死ぬときに起こるものとするあらゆる作り話はつかむのである。」（預言の霊 4 巻 216, 217）

- b. この希望の甘美さを述べなさい。そしてそれは何と緊密に結びついていますか(ピリピ 3:20, 21)。

「数々の預言の真理は束ねられていて、わたしたちがそれらを研究するとき、実際のキリスト教の真理の美しい房を形作っている。わたしたちが伝えるすべての説教は、わたしたちが神の御子の来臨を待ち、そのために働き、祈っていることを、率直に表わしている。このお方の来臨こそ、わたしたちの希望である。この希望はわたしたちのすべての言葉、働きに、またわたしたちのすべての交わりと関係に結びつけられているべきである。」（伝道 220）

「主を愛して待っている人々には、主は栄光と名誉と不死のいのちで報いてくださるであろう。死んでいる義人は墓から出て来るであろう。また生きている義人は空中でとらえられて主にお会いするであろう。人間がこれまで耳にしたどんな音楽よりもすばらしいキリストのみ声が、あなたの戦いは終わったとお告げになるのを彼らは聞かろう。」（患難から栄光へ上巻 28）

3. 描写を越えた栄光

a. 諸天におけるどのしるしが、イエスの来臨を示唆しますか (マルコ 13:26)。

「まもなく、わたしたちの目は東のほうに引きつけられた。なぜなら、人の手の半分くらいの大きさの小さい黒雲が現われたからである。わたしたちはみなそれが人の子のしるしであることを知っていた。わたしたちはみな厳粛な沈黙のうちに、その雲が地上に近づくのを見つめた。それは次第に明るさと栄光を増し、さらに栄光を増していき、ついには大きな白い雲となった。下のほうには焼き尽くす火のように見え、上のほうには契約のじがかかっていた。」(預言の霊 2 巻 32)

b. キリストが戻られるときの三重の栄光を—このお方がご自分の贖われた者たちとどこで会われるかに注意しつつ—説明しなさい。このお方の足は再臨の時に地面に触れますか (ルカ 9:26 (下句) ; テサロニケ第一 4:16, 17)。

「〔雲〕の上に人の子は座っておられ、その頭には冠があり、このお方の髪は白く、巻いており、このお方の肩にかかっていた。このお方の足は火のように見え、このお方の右手には鋭い鎌があり、左手には銀色のラップがあった。このお方の目は火の炎のようであり、ご自分の子らを徹底的に探った。そのとき、すべての顔は色を失い、神が拒まれた人々は黒くなった。そのとき、わたしたちは叫んだ、『だれが立ち得るであろうか。わたしの衣にはしみがないであろうか』。そのとき、御使たちは歌うのをやめ、おそるべき沈黙の時があった。そのとき、イエスが『きよい心と純潔な心を持つ者は立つことができる。わたしの恵みはあなたに対して十分である』と語られた。このとき、わたしたちの顔は明るく輝き、喜びがすべての心を満たした。そして天使たちは雲がますます地上に近づく間、もっと高く弦を鳴らし、再び歌った。それから、イエスが火の炎に包まれた雲に乗って下られるとき、このお方の銀のラップが響いた。このお方は眠っている聖徒たちの墓をじっとご覧になった。それから天へご自分の目と手を上げて、覚めよ! 覚めよ! 覚めよ! ちりの中に眠っているあなたがたは起きよ、と叫ばれた。そのとき、大地震があった。墓は開かれた、そして死んだ者は不死をまとして出てきた。144,000 人は、死によって引き裂かれていた自分の友人たちを認めると、ハレルヤ! と叫んだ。そしてその瞬間、わたしたちは変えられ、彼らと共に主にお会いするため、空中へ上げられた。わたしたちはみな共に雲の中に入った。」(同上 32, 33)

c. キリストの再臨と対照的に、千年後のこのお方の三回目の来臨は、何が違いますか (ゼカリヤ 14:4 (初代文集 66-68 参照))。

4. 力と権威をもって

- a. イエスの再臨のときには、自然界に何が起こりますか。それはなぜですか（黙示録 6:14; イザヤ 24:1-6）。

「神はご自分の民がその従順か、もしくは不法に従って報いられることをはっきりと理解するよう望んでおられる。一世代ごとに悪と病気が増し加わってきた。地は人が継続的な不従順のゆえに地にもたらした呪いの下に苦しんできた。」（靈的賜物 4a 巻 123）

「王の王は、燃える炎に包まれて、雲に乗って降りて来られる。天は巻物が巻かれるように消えていき、地は、王の王の前に 震え、すべての山と島とは、その場所から移されてしまう。」（各時代の大争闘下巻 420）

- b. まもなくこのお方の来臨の時に世界に下ろうとしている神聖なさばきを、預言はどのように描写していますか（イザヤ 24:17-23）。

「悪人たちはこの光景を、恐れと驚きとをもってながめる。一方義人たちは、自分たちの救いの前兆を厳粛な喜びで迎える。自然界の万物は、それぞれの軌道からはずれたように見える。川の流れは止まる。黒い厚い雲が現われて、互いに衝突する。この怒ったような天の真ん中に、一か所言うに言われぬ栄光に満ちた澄んだ空間があって、そこから神のみ声が、多くの水の音のように聞こえてきて、『事はすでに成った』と告げるのである（黙示録 16:17）。

その声が天と地とを震動させる。大地震が起こる。「それは人間が地上にあらわれて以来、かつてなかったようなもので、それほどに激しい地震であった」（同 16:18）。大空は、開いたり、閉じたりするように見える。神のみ座からの栄光が、ひらめき渡るように見える。山々は、風にゆらぐ葦のように揺れ、ゴツゴツした岩があたり一面に飛び散る。嵐が近づいているようになり声とする。海は荒れ狂っている。強風のかん高い音が、破壊行為に従事している悪鬼らの声のように聞こえる。全地は海の波のように隆起し揺れ動く。地の表面は砕け散る。地の基そのものが崩れつつあるように見える。山脈は沈下していく。人々の住んでいる島々が消えていく。罪惡に満ちてソドムようになってしまった海港は、怒った水にのまれてしまう。」（同上 414）

5. 長年抱いてきた望みの成就

- a. イエスの再臨のときにイエスと共に喜ぶ聖天使たちの喜びを描写しなさい (ユダ 14)。

「数えることができないほどの聖天使の群れが、天の聖歌を歌いながら付き従う。大空は、『万の幾万倍、千の幾千倍』もの、輝く天使たちで満たされたように見える。この光景は、人間のどんな筆によっても描くことができない。その輝かしさは、どんな人間の頭でも十分に想像することはできない。」(各時代の大争闘下巻 419)

- b. 聖天使たちは、どの任務を果たしますか (すでに終わっている調査審判に基づいて)、また地の住民たちはこの上なく何を悟りますか (マタイ 13:41, 49; 25:32; ローマ 7:12)。

「大天使のラッパはまもなく、生きている人々を驚かせ、死者を眠りから覚まさせるであろう。その日悪人は、羊飼いが山羊を羊から分けるように、義人から分けられるであろう。」(家庭の教育 613)

「キリストはすべての人がご自分の再臨の出来事を理解するよう望んでおられる。裁きの光景が、諸世界のすべての人の目前で起こるであろう。なぜなら、この裁きにおいて、神の統治が擁護され、このお方の律法が『聖であって、正しく、かつ善なるもの』であることが現れるからである (ローマ 7:12)。その時一人ひとりの判決は決まり、宣告がすべての人になされる。罪はその時には魅力的には見えず、ことごとく恐ろしい巨大さのうちに見られる。すべての人は自分が神に対して、また互いに対してどの関係のうちに立っているのかを悟るのである。」(レビュー・アンド・ヘラルド 1898年9月20日)

個人的な復習問題

1. どの人の群れがキリストの再臨を目撃するのか説明しなさい。
2. イエスはなぜ再臨なさるのですか。またこの出来事はわたしたちに何を考えさせるべきですか。
3. なぜわたしたちはキリストの足が地に着くかどうかを知るべきなのですか。
4. 創造における大変動が神の道德律とどのように関係していますか。
5. この喜ばしいながら厳粛な時を前にして、わたしたちは何を深く考えるべきですか。

第一安息日献金

伝道学校と教育プロジェクトのために

「神のみかたちにかたどってつくられた人間のひとりびとりに、創造主の能力に近い能力—個性、すなわち、思考し行動する能力がさずけられている。この能力が発達してはじめて、人は、責任を負う者となり、事業の指導者となり、他人に感化を及ぼす者となる。この能力を発達させること、すなわち青年たちが、ただ単に他人の思想を反映する者とならないで、自ら思考する者となるように、彼らを訓練すること



ことが真の教育の働きである。人が書いたり、言ったりしたことばかりに、生徒の研究を閉じこめなくて、彼らを真理の泉、すなわち自然と聖書の中に開かれている広い研究の分野に導かなければならない。人間の本分と運命について、重大な事実を熟考するときに、彼らの心は強くそして大きくなる。学校は、弱々しい知識人ではなく、たくましい思考力と行動力をもった青年、境遇の奴隷とならないで、かえってこれを征服する青年、広い心とはっきりした考え方と強い信念をもった青年—そういう人間を、社会に送り出すことができる。」(教育 6, 7)

教育支部の目的は、このような施設を設立することです。全般的な教育のための学校と、伝道学校は、かつてなかったほど、わたしたちの子供たちのために必要とされています。一世紀以上も前に主の使命者は次のように記しました。「現在都市から出ることのできない人々の子供たちを救い教育するためにもっと多くのことをすることができます。これはわたしたちの最善の努力に値する。教会学校が諸都市に設立されなければならない。そしてこれらの学校と関連して、より高い研究が必要とされているところで、それらを教えるための備えがなされなければならない。」(チャルド・ガダニス 306)

「安息日遵守者が数人集まっているところでは、自分の子供や青年たちを指導することができる全日学校の場所を提供するため団結すべきである。彼らはクリスチャンの教師、すなわち献身した伝道者として彼らを伝道者になるよう導くような方法で子供たちを教育できる人を雇うべきである。……

もし親がこれらの小さな教育センターの重要性を自覚し、主がこの時代になされることを望んでおられる働きをするよう協力するならば、わたしたちの子供たちの敵の計画は挫折させられるのである。」(チャルド・ガダニス 307)

この安息日に世界中のわたしたちのすべての教会において、この働きを支援するため惜しみない献金を捧げて下さるようお願いいたします。

世界総会教育支部の皆さんの兄弟より

大いなる力と栄光をもって

「その日、人は言う、『見よ、これはわれわれの神である。わたしたちは彼を待ち望んだ。彼はわたしたちを救われる。これは主である。わたしたちは彼を待ち望んだ。わたしたちはその救を喜び楽しもう』と。」(イザヤ 25:9)

「大空をおおっていた黒い、怒ったような雲が裂けて、〔神の民〕は、ステパノのようにじっと天を見つめて、神の栄光と、人の子がそのみ座にすわっておられるのを見る。」(各時代の大争闘下巻 413)

推奨文献： 各時代の大争闘下巻 210-216; 419-425

日曜日

7月30日

1. 信じがたい苦悩、苦悩、苦悩

- a. キリストが来られるとき、このお方の救いの申し出を蔑んできた人々に臨んだ恐るべき反応を何が表していますか (黙示録 6:15-17; ナホム 2:10)。

「神の恵みを拒んだ者に、永遠の絶望の恐怖がおそってくる。」(各時代の大争闘下巻 419.420)

「罪人が神性と人性をまとおられたお方、また今もなおこの衣をまとおられるお方を仰がなければならないとき、彼らの混乱は言語に絶する。彼らの目からうろこが落ちて、かつては見なかったものを見る。彼らは自分たちがキリストを受け入れて、自分たちに与えられた機会を活用することができたはずであることを悟る。彼らは自分たちが拒絶してきた律法が、神の御座ほどに高められているのを見る。彼らは神ご自身がご自分の律法に敬意を払っておられるのを見るのである。」(SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 1 巻 6 巻 1069)

- b. 彼らに実際何が起こりますか。それはなぜですか (テサロニケ第二 1:7-10; 2:8)。

「神の栄光の光は、義人にはいのちを与えるが、悪人は滅ぼすのである。」(各時代の希望上巻 110)

2. 特別復活

- a. 歴史を通じて、神に信頼して墓へ下ったすべての人々の間から、どの部類の信徒たちがキリストの来臨の直前にすでによみがえらされているのですか（黙示録 14:12, 13; ダニエル 12:1, 2）。

「暗い濃い雲があらわれて互いにぶつかり合った。しかし、一ところだけ栄光の輝く晴れ渡ったところがあつて、そこから神のみ声が、流れの音のように、天地をふるわせて聞こえてきた。大地震が起こった。墓が開かれた。そして、第三天使の使命を信じ、安息日を守って死んだ人々が、栄化された姿で土の寝床から現れた。彼らは、神がご自身の律法を守った人々と結びたもう平和の契約を聞くのであった。」（初代文集 460）

- b. キリストの再臨の直前に、悪人のうちからよみがえらされる人々はだれですか（マタイ 26:62-64; 黙示録 1:7）。

「わたしは神の子であるとのキリストの宣言をあざけた者たちは、今は何も言えない。そこには、イエスの王の称号をあざけて、あざ笑う兵士たちに命じてイエスに冠をかぶらせたヘロデもいる。不敬な手で紫の衣を着せ、その尊い額にいばらの冠をかぶらせ、なんの抵抗もなさないみ手に偽の笏を持たせ、嘲笑しながら礼拝のまねをして神を汚した、その当人たちがいる。いのちの君を打ち、つばをはきかけた者たちは、今、キリストの射るような視線から顔をそむけ、そのご臨在の圧倒的な栄光から逃げようとする。イエスの手と足に釘を打った者たちや、その脇腹を刺した兵士は、恐怖と後悔とに打ち震えてその傷跡を見る。祭司たち、為政者たちは、恐ろしいばかりにはっきりと、カルバリーのできごとを思い起こす。」（各時代の争闘下巻 422）

- c. この特別復活は、イエスのみ声で起こる復活と、どのようにはっきり区別されていますか（ヨハネ 5:28, 29.）。ダニエル 12:2 参照のこと（「多くの人」対「すべての人」）。

3. 口に言い表せない畏敬

- a. 恐るべき宇宙の創造主が堂々とした壮麗さのうちにご自分の御座に座しておられるのを見たとき、何が死すべき人間の―神に忠実なわずかな人々を含めて―最初の反応ですか (エレミヤ 30:6)。

「義人たちは、震えながら、『だれが立つことができようか』と叫ぶ。天使たちの歌はやみ、恐ろしい沈黙のひとつときがくる。」(各時代の犬争闘下巻 420)

- b. 心から自分たちの主の来臨を切望している人々を、どの心温まる保証がすぐに慰めますか (コリント第二 12:9 (上旬))。

「すると、『わたしの恵みはあなたに対して十分である』というイエスのみ声が聞こえる。義人たちの顔は輝き、どの人の心も喜びに満たされる。そして、天使たちは、前よりも調子を高めて歌い始め、ますます地上へと近づいてくる。」(同上)

- c. 自分たちの望みが集中していたお方の再臨の時に、キリストに従う人々は何と言いますか。またこのことは今、わたしたちにどのような動機を与えるべきですか (イザヤ 25:9)。

「キリストに忠実に従った人びとにとって、キリストは日ごとの伴侶、親しい友であった。彼らは、神との密接な接触、絶えざる交わりを保ってきた。彼らの上に、主の栄光がのぼった。イエス・キリストのみ顔にあらわれた神の栄光の知識の光が、彼らの中に反映したのである。今彼らは、荘厳な王の大いなる輝きと栄光に浴して喜ぶのである。彼らは、心に天を持っているから、天との交わりに入る準備ができているのである。

彼らは、輝く義の太陽の光を受けて、頭をもたげ、彼らのあがないの近づいたことを喜ぶのである。彼らは、花婿を迎えるために出ていく。」(キリストの実物教訓 397)

「わたしたちは平安のうちに救い主にお会いする準備をしているであろうか。あるいは世の事業や娯楽に没頭しているであろうか。わたしたちはキリストを歓迎する人々の数に入るために奮闘しないであろうか。」(サインズ・オブ・タイムズ 1901年4月17日)

4. 地からの誉ある解放

- a. 義人のよみがえりの時に起こる驚くべき奇跡を描写しなさい（コリント第一 15:51-55）。

「神のみ子……は義人たちの墓をごらんになり、それから両手を天のほうへ上げて、『目ざめよ、目ざめよ、目ざめよ。ちりの中に眠る者たちよ、起きよ』と呼ばれる。地の全面にわたって、死者はその声を聞き、聞く者は生きる。」（各時代の争闘下巻 423）

- b. これは彼らを永遠にふさわしいものと認めた調査審判とどのように関連していますか。またこのことによって、わたしたちは立ち止まって何を考えるべきですか（ペテロ第一 4:17-19; ルカ 20:35（上句）, 36）。

「審判において、記録の書が開かれるときに、イエスを信じたすべての人の生涯が神の前で調べられる。われわれの助け主であられるイエスは、この地上に最初に生存した人々から始めて、各時代の人々のためにとりなし、現在生きている人々で終わられる。すべての名があげられ、すべての人の事情が詳しく調査される。受け入れられる名もあれば、拒まれる名もある。……

真に罪を悔い改め、キリストの血が自分たちの贖いの犠牲であることを信じたものは、みな、天の書物の彼らの名のところに、罪の許し書き込まれる。彼らは、キリストの義にあずかる者となり、彼らの品性は、神の律法にかなったものとなったので、彼らの罪は、ぬぐい去られ、彼ら自身は、永遠の生命にあずかるにふさわしいものとされるのである。」（同上 215 ～ 216）

- c. 義人たちにはイエスが来られるときに生きている人々も、このお方のみ声でよみがえる人々にも一何が起こりますか（コリント第一 15:49）。

「〔生きている義人たち〕は、神のみ声によって栄化された。今や彼ら是不死の者とされて、よみがえった聖徒たちとともに、空中において主に会うために引き上げられる。」（同上 424）

5. 第一と第二の復活

- a. 義人の全般的な復活のタイミングを説明しなさい。またその喜びを描写しなさい（黙示録 20:1-6（テサロニケ第一 4:16, 17 を再度参照のこと））。

「勝利の時、すなわち最後のラッパが鳴り響き、大軍が永遠の勝利のために出てくる時まで、すべての眠れる聖徒は、安全に守られ、貴重な宝石のように保護されるのである。彼らは名をもって神に知られている。生きている時に彼らのうちに宿っていた救い主の力によって、また彼らが神性にあずかる者であったがゆえに、彼らは死人の中からよみがえらされるのである。」（信仰によってわたしは生きる 185）

- b. わたしたちはどのようにキリストを十字架につける罪を犯した悪人たちが特別復活の時によみがえらされるかを研究しました。しかし、いつ、残りの死せる悪人たちは最終的な滅びの前に自分たちの造り主と顔を合わせて会いますか。そして、なぜこれがまじめに考えさせる思想なのですか（コリント第一 6:3（上旬）；黙示録 20:4, 5, 12-15）。

「千年期が閉じるときに、キリストは再び地上に戻られる。このお方は贖われた万軍に伴われ、天使の一行に付き添われている。このお方は恐るべき威光をもって下ってこられるときに、死せる悪人に自分たちの運命を受けるために起きよと命じられる。……第一の復活の時によみがえらされた人々となんと対照的なことであろう！義人たちは不死の若さと美しさをまとうていた。悪人たちは病氣と死の跡を帯びている。」（同上 355）

「日々、神はご自分の民をテストし、試しておられる。靈感を受けた言葉は率直にわたしたちのわがによってわたしたちは自分の永遠の運命を決めているのだと宣言している。」（原稿リ-ス1 巻 278）

個人的な復習問題

1. キリストが雲に乗ってこられるときに、だれがただちに殺されますか。それはなぜですか。
2. 特別復活はだれのためですか。そしてその二重の目的は何ですか。
3. わたしはイザヤ 25:9 の瞬間に焦点を当てていますか。あるいはこのお方が遅れることを望んでいますか。
4. なぜイエスが来られる前に調査審判が行われなければならないのですか。
5. 悪人たちが自分たちの運命に直面する前に、なぜ千年間がなくてはならないのですか。

待ち、そして見張る

「このキリストが、わたしたちのためにご自身をささげられたのは、わたしたちをすべての不法からあがない出して、良いわざに熱心な選びの民を、ご自身のものとして聖別するためにほかならない。」(テトス 2:14)

「キリストの再臨を待つということは、何を意味するかを、お示しになった。それはただ 漫然と待つことなく、勤勉に働いて、時を過ごすことであった。」(キリストの実物教訓 299)

推奨文献： キリストの実物教訓 328 ～ 342

日曜日

8月6日

1. 奉仕のために召される

a. イエスはご自分の再臨と関連して、どの譬を提示されましたか (マタイ 25:13-15)。

「遠い国へ旅に出た人とは、キリストのことである。キリストは、このたとえを語られたとき、まもなくこの地上から天へ帰ろうとしておられた。『僕ども』、つまり、どれい、キリストの弟子たちのことである。……

主は、奉仕が人生の真の目的であることをお教えになった。キリストご自身が、勤労者であられて、彼に従うすべての者に、神と人類に仕えるという、奉仕の法則をお与えになる。」(キリストの実物教訓 299, 300)

b. タラントは何と対比されていますか。またそれらはどのように意味がありますか(コリント第一 12:7-11)。

「タラントというのは、先天的であろうが、後天的であろうが、一般的のものであろうと霊的のものであろうと、……これを、すべて、キリストのための奉仕に用いなければならない。わたしたちは、キリストの弟子になったのであるから、自分自身と持っているすべてのものをささげて、キリストに従うのである。すると、キリストは、これらのたまものを清め高尚にして、再びわたしたちに返してくださるから、わたしたちは、同胞を祝福するためにそれを用いて、神の栄光をあらわすようになるのである。」(同上 302, 303)

2. 委ねられたものを正しく用いる

- a. わたしたちの時間の重要性を考慮し、わたしたちに委ねられたタレントの使用についてのキリストの譬から、わたしたちは何を学ぶべきですか (マタイ 25:16-18)。

「わたしたちが、何よりも心に留めなければならないことは、どれほど受けたかということではなくて、現に与えられているものをどのように活用しているかということである。わたしたちのすべての能力を発達させることが、わたしたちの神と同胞に対して果たさなければならない 第一の義務である。日々自分の能力と有用さを発達させていない者は、人生の目的を果たしているとは言えない。キリストを信じると告白することは、主のために働く者として、最善を尽くして、向上することを誓約することである。そして、わたしたちの力の限り最大の善をするために、すべての能力を、最高の完全状態に発達させなければならない。」(キリストの実物教訓 303, 304)

- b. わたしたちの賜物を正しく用いることによって、何が成し遂げられますか (マタイ 25:19, 20, 22)。

「神は、わたしたちに欠けている特質を超自然的にお与えになったりしない。しかし、わたしたちが、持っているものを活用するとき、神はわたしたちと共に働いて、すべての能力を増大し強化してくださる。主の奉仕のために全心をこめて熱心に犠牲をするならば、そのたびにわたしたちの能力は増すのである。わたしたちが、自分を聖霊の働かれる器として明け渡すときに、神の恵みがわたしたちのうちに働いて、古い傾向を退け、強い性癖に勝利し、新しい習慣を形造るのである。わたしたちが、聖霊のささやきに耳を傾けて従うならば、わたしたちの心は 拡大され、ますます神の力を受け、さらに、よい働きをすることができるのである。眠っていた精力は呼びさまされ、まひしていた機能も新しい生命を受けるのである。……

神の力を信じることによって、弱いものがどんなに強くなって不屈の努力を続け、大きな成果を生むようになるかは、驚くばかりである。たとえ、知識はわずかしかなくても、その少しの知識をへりくだった気持ちで人びとに伝えるものは、全天の宝庫が彼の要求に応じて開かれることを知るであろう。光を伝えたいと望めば望むほど、さらに光が与えられるのである。魂を愛して神のことばを人に説明しようとするほど、ますますすみことばの意味が明らかに示される。」(同上 329, 330)

3. 感謝しているか、不平を言っているか

- a. 自分のタラントを乱用していたために不忠実な僕はどのように非難されましたか。また、なぜそのような態度がわたしたちのための警告なのですか (マタイ 25:24-28)。

「神が人々の所有を要求し、彼らの奉仕をお求めになるのを非難して、神は苛酷な主人であるというものが多くいる。しかし、わたしたちは、すでに神のものである物のほかに何も神にささげることとはできない。……万物は、創造によるばかりでなく、贖罪によって神の所有なのである。現世ばかりでなく、来世においても受ける祝福のすべてには、カルバリーの十字架が押されている。であるから、神が苛酷な主人であって、まかないところから刈るという非難は不当である。」(キリストの実物教訓 338, 339)

- b. 靈感は、つぶやき、言い訳をするわたしたちの傾向をどのように描写していますか。またなぜわたしたちは、主人が戻ってこられる前に、一人びとりのための主人の熱心な思いに注意を払うべきなのですか (箴言 30:15, 16; イザヤ 29:24)。

「いらだち、あら捜し、強い調子で話すことはやめなければならない。あなたは自分の曲がった意志や自分の品性にある欠点に対して勝利を得るために、どれだけの時間を取ってきただろう。今のあなたの進歩では、自己に対する勝利を得るために不可欠な断固とした努力をなす前に、あなたの恩恵期間が閉じてしまうかもしれない。あなたは神のみ摂理によって、自分の特異性が、もしあるとすれば、試され、明らかにされる立場に置かれることになるであろう。」(教会への証 4 巻 341, 342)

「多くの人々は、自分たちの品性の欠点に打ち勝つための決定的な努力をなさないことによって、自分自身とサタンに仕えることを決心する。多くの人々は罪深い傾向を甘やかし、いつか勝利者になることを期待しているが、永遠の刑罰のために決定しているのである。……イエス・キリストのみ名によって、あなたは今、『この日に』、勝利者となることができる (ルカ 19:42)。自己のために計画したり、研究したりしてはならない。あなたはわずかでも利己心を奨励しながら、完全に主のものとなることはできない。贖い主があなたに示してくださったような大いなる愛は、大きなへりくだりと継続的な喜びをもって受けるべきである。幸せになるためには、あなたは自分の思想と言葉を支配しなければならない。それにはあなたの側で最上の努力を要求するであろう。しかし、もしあなたが神の子として認められたいならば、その努力をしなければならない。努力にうみ疲れてはならない。サタンはあなた方の魂のために戦っているが、彼は失望させられなければならない。」(同上 344)

4. 欺瞞を暴き、それから逃れよ！

- a. 神の御子の模範は、わたしたちの魂の大敵の偽りの告発を、どのように反証しますか（創世記 3:4, 5; ピリピ 2:5-8）。

「悪魔は人の心をくらし、神を恐ろしいもののように見せかけ、残酷で人を決してゆるさない者、きびしい裁判官か強欲な金貸しのよう、厳として動かぬ者のように思わせている。また創造主をつねに人類のあやまちを拾い上げて厳罰に処している者のように思わせている。イエスが人類の間に住まわれたのは、この暗いかげを取り除いて神の限りない愛を示すためであった。」（キリストへの道 4）

「サタンは神の愛の律法を利己主義の律法であると言う。彼はわれわれがその戒めに従うことは不可能だと宣言する。」（各時代の希望上巻 9）

「もしわれわれの目が開かれるならば、われわれのまわりに悪天使が群らがつて、なんとかしてわれわれを苦しめて、滅びに陥れようとして新しい方法を考え出しているのを見ることであろう。また、われわれは、彼らの力からわれわれを保護している神の天使たちをも見ることであろう。神の目は、常に注意深く、イスラエルを幸福に保つために見守っている。そして、彼らが神に信頼するならば、神は、神の民を保護し救われるのである……」

『あなたは、魔法の力にとりつかれた国にいることを忘れてはならない』と天使が言った。われわれは目を覚まし、神のすべての武具を身につけ、信仰の盾を手を取らなければならない。そうすれば、われわれは敵に立ち向かうことができ、悪しき者の放つ火の矢もわれわれを害することができないことを、わたしは見た。」（初代文集 133, 134）

- b. わたしたちが自分の欠点や怠慢に勝利するのを、神がどれほど助けたいと願っておられるかを、何が明らかにしていますか（詩篇 20:1, 2, 7-9; 94:17, 18）。

「聖霊に動かされて、人びとを善と神とに導いた行為は、天の書に記録される。」（キリストの実物教訓 337, 338）

「神は民らが最高の階段にまでのぼって、神が与えようとしておられる能力を所有して、神の栄光をあらわすことを望んでおられる。わたしたちは、世の人びとよりは、はるかにまざった計画に従って動いていることを示すあらゆる準備が神の恵みのもとに整えられているのである。……」

大きなたまものを与えられなかった者も失望する必要はない。常に品性の弱点に注意しながら、神の恵みによってそれを強めるように努め、持っているものを活用すればよいのである。」（同上 334）

5. 神と共に働く勝利に満ちた共労者

- a. 主の奉仕のために完全に明け渡すことによって、主の来臨のために準備するとき、わたしたちの主要な関心事、またこのお方の関心事は何ですか (テトス 2:13, 14; ルカ 17:10; 詩篇 145:10-12)。

「主がしもべたちと計算されるときにはすべてのタラントがどれだけ増したかが厳密に調べられる。行なった働きが、しもべたちの品性をあらわすのである。

五タラント与えられたものと、二タラント与えられたものとは、託されたものと利益とを主に返した。これは彼らが、何も自分の功績を認めないことを示している。彼らのタラントは、与えられたものであった。別のタラントをもうけたのではあるが、元金がなければ利益もなかったのである。彼らは、ただ自己の義務を果たしたことを認めている。資金は主のものであったから、利益も主のものである。もしも主が彼らに愛と恵みとをたまわらなかったならば、彼らは、永遠に破産してしまったことであろう。

しかし、主がタラントをお受けになったとき、それがいかにも彼らの功績であるかのように、しもべたちを賞賛し、報われる。このお方の顔には、喜びと満足の色であらわれていた。主は彼らに祝福を与えることができることを喜ばれるのである。神がしもべたちに奉仕と犠牲をお与えになるのは、神の側に与えなければならない義務があるからではなくて、愛とやさしさにあふれた心からなされるのである。」(キリストの実物教訓 337)

「わたしたちの天の父は、わたしたちが与えられただけの才能を発揮することをお求めになる。わたしたちには負うことができない重荷を無理に負わせられることはない。『主はわれらの造られたさまを知り、われらのちりであることを覚えていられるからである』(詩篇 103:14)。神がわたしたちにお求めになることは、すべて、恵みによって、わたしたちのなし得ることなのである。」(同上 339)

個人的な復習問題

1. タラントをお与えになる神のご目的について、しばしばどのような誤解がありますか。
2. あなたは弱く過ちがあるかもしれませんが、あなたを助ける神のご計画は何ですか。
3. 一タラントをもらった僕と今日典型的な人間の態度を対比しなさい。
4. わたしたちの聖化を阻もうとする敵の戦略を、どのように回避できますか。
5. 神のための本物の活動的な代理者となるために、どのように勝利を得ることができるかを説明しなさい。

イエスとの個人的な関係

「だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである。」(コリント第二 5:17)

「わたしたちが義の太陽に向かい、キリストと接触する時、神の臨在の輝きによって全心が燃やされるのである。」(祝福の山 49)

推奨文献： ミストリー・オブ・ヒーリング 53-57; 30-33
セレクトド・メッセージ 1 巻 40-48

日曜日

8月13日

1. 闇の中に輝く光

- a. 聖書はわたしたちの無力な状態をどのように描写していますか (ヨブ 14:4; ローマ 3:23; 8:7)。

「わたしたちは、自分の力で一度沈んだ罪の淵からのがれることはできない。また、わたしたちの心は邪悪であって、それを変えることもできないのである。」(キリストへの道 15)

「多くの人々は聖なるものでないために不幸である。心の純潔、思いの純真さだけが、神に祝福される。罪をいだいているとき、それは最終的に不幸以外の何も生み出すことができない。」(教会への証 6 巻 53)

- b. 神はその大いなる愛と憐れみのうちに、この終わりの時代に何を明らかにしてこられましたか。そしてそれがどのように実際的な方法でわたしたちの生活に影響を及ぼすべきですか (ローマ 3:24-26; 8:1-4)。

「わたしたちの主なる救い主はご自分の主権、ご自分の富と栄光をわきへおき、わたしたちの後をたずね求められた。それはわたしたちをみじめさから救い、ご自身に似た者とするためであった。このお方は自らを低くし、わたしたちの性質を取られたが、それはわたしたちがこのお方から学び、このお方の慈善と自己否定のご生涯を模倣しつつ、一步一步天へ、み跡に従うことができるためであった。」(同上 2 巻 170)

2. わたしたちのための神の愛

a. 救いの計画の完全さを説明しなさい(コリント第一 1:30; コリント第二 5:19-21)。

「キリストは贖罪の犠牲として、失われた世界の救いのためにご自身を捧げられた。わたしたちがこのお方にふさわしい取り扱いを受けることができるために、このお方はわたしたちにふさわしい取り扱いを受けられた。このお方はわたしたちの罪のために、すなわちご自分は全く関与しておられない罪のために有罪宣告を受けられた。それはわたしたちが全く関与していないこのお方の義によって義認されるためであった。このお方はわたしたちのものであった死にあわれたが、それはこのお方のものであった命をわたしたちが受けるためであった。『その打たれた傷によって、われわれはいやされたのだ』(イザヤ 53:5)。

キリストは、かつて天の宮廷でご自分のかたわらに忠誠のうちに立っていた者から、わたしたちと同じようにあらゆる点で誘惑を受けられた。試みの荒野において最も弱っておられたときに最も激しい誘惑によって攻撃されたときの神の御子を見よ。このお方がご自分の公生涯の年月の間、悪の勢力によってあらゆる方向から攻撃されておられたのを見よ。十字架上で苦悩のうちにいられたこのお方を見よ。すべてこれらに苦しまれたのはわたしたちのためであった。」(教会への証 8 巻 208, 209)

b. 神の愛の祝福を経験できるのはだれですか(マタイ 11:28; ヨハネ 6:37)。

「キリストの許へ来るのに厳しい精神的な努力や苦悩は要求されていない。単純に神がご自分のみ言葉の中に明らかにしておられる救いの条件を受け入れるだけである。祝福はすべての人に無償で与えられている。……

すべての名にまさる名、すなわち人々の間で与えられた人々を救いうる唯一の名によって、神のみ約束をわがものと主張し、次のように言いなさい、『主よ、わたしの罪をお許してください。わたしは助けを求めてわが手をあなたの手のうちにおきます。そしてわたしはそれをいただかなければなりません、さもないと滅びます。今、わたしは信じます』。(ヘブレイク・メッセージ 1 巻 333, 334)

「自分たちの必要の深い自覚と、求めているものに対する大きな願望が、わたしたちの祈りの特徴とならなければならない。さもなければ、それらが聞かれることはない。しかし、わたしたちはただちに答えを受けないからといって弱ったり、自分の嘆願をやめたりしてはならない。『天国は激しく襲われている。そして激しく襲う者たちがそれを奪い取っている』(マタイ 11:12)。ここで言われている襲われているというのは、ヤコブが表わしたような聖なる熱心さのことである。わたしたちは自ら激しい感情を持とうとする必要はない。そうではなく、静かに辛抱強く、恵みのみ座に自分の嘆願を訴えるのである。』(彼を知るために 272)

3. キリストにおける新しい命

- a. わたしたちがイエスに信頼するとき、どのような新しい態度とふるまいが現れるようになりますか(コリント第二 5:17; ガラテヤ 5:6; ピリピ 2:12, 13)。

「わたしたちをキリストとの命のつながりに入れる信仰は、わたしたちの側で最高の優先、完全な信頼、余すことのない献身を表明する。この信仰は愛によって働き、魂を清める。それはキリストに従う人々の生活の中で、神の戒めへの従順をなしとげる。なぜなら、神への愛と人への愛がキリストとの命のつながりの結果だからである。」(セクレット・メッセージ 1巻 334)

「神聖な力以外の何ものも人の心を再生し、魂にキリストの愛を吹き込むことはできない。この愛はいつでもキリストがそのために死なれた人々への愛をもっておのずと現れるのである。……人が神へ改心するとき、新しい道徳的な分別が補われ、新しい動機の力が与えられる。そして彼は神が愛されるものを愛するのである。……

しかし、自分の側で罪に打ち勝つための断固とした努力をすることなく、自分の品性に魔法のような変化が起こることを待っている人々は失望することになる。わたしたちはイエスを眺めている間は、このお方がご自分の許へ来る人々を最高に救うことがおできになることについて恐れる理由はなく、疑う理由はない。しかし、わたしたちはつねに自分の古い性質が再び最高位を得ることがないように、それによって敵がわたしたちを再び自分のとりこにするようなわなを何かしかけることがないように恐れることはできる。」(同上 336, 337)

- b. すべての信徒の心をどの深い願望が絶えず満たすべきですか。そして、このことは常にどのようにわたしたちに影響を及ぼすべきですか(ヨハネ 15:4, 5, 10; ローマ 6:6, 10, 11)。

「キリストとのこのつながりは、一度できたら、持続しなければならない。……これは気まぐれな接触でもなければ、ついたり離れたりする関係でもない。……

キリストにつながっているということは、そのみたまをたえず受けること、すなわちキリストの奉仕に無条件に服従する生活である。」(各時代の希望下巻 163, 164)

「意志を正しく働かせるならば生活は全く変わってしまう。意志をキリストに全く服従させることによって、どんな主義よりも力よりも、はるかにまさった力に自分を結びつけることになるのである。そして天よりの力をえてしっかりと立つことができ、絶えず神に服従することによって新しい生涯、すなわち信仰の生涯を送ることができるようになるのである。」(キリストへの道 61)

4. 恵みにおける成長

- a. キリストの啓発を求める祈りをもってキリストに心を明け渡すとき、品性にどのような変化が起こりますか (ガラテヤ 5:22, 23; 詩篇 119:18)。

「眺めることによって、わたしたちは変えられていかなければならない。そしてわたしたちが神聖な模範の完全さを瞑想するとき、完全に変えられて、このお方の純潔なみかたちに新たにされることを願うようになる。品性に変化が起こり、怒りの子が神の子となるのは、神の御子を信じる信仰によってである。彼は死から命へ移る。彼は霊的なものとなり、霊のことを識別する。神の知恵が彼の思いを啓発し、彼は神の律法のくすしきことを見る。真理によって改心している人として、品性の変化の働きは続いていく。彼はますます増し加わる理解力を得る。神へ従順な人となることによって、彼はキリストの思いを持ち、神のご意志が彼の意志となる。」(セレテッド・メッセージ 1 巻 338)

- b. この工程において、なぜ聖書と証の書を心を開いて研究し、瞑想することが重要なカギなのですか (詩篇 119:24-27)。

「危険なところに立っているのは、証の書をあからさまに拒んだり、それらに対して疑いを抱いている人々だけではない。光を無視することは、それを拒むことである。」(教会への証 5 巻 680)

「詩篇記者は『あなたのみ言葉はわが足のともしび、わが道の光です』と言っている (詩篇 119:105)。しかし、開かれず読まれないままではいる場合は、別である。」(ビュー・アンド・ヘアルド 1881 年 1 月 4 日)

「信仰の目をもってイエスをたえずながめることによって、われわれは強められる。神は、飢えかわいているご自分の民に最もとうとい啓示をお与えになる。彼らはキリストが自分自身の救い主であることを発見する。キリストのみことばを食べるときに、彼らは、それが霊でありいのちであることを知る。みことばは、生れながらの世俗的な性質を減らし、イエス・キリストのうちにある新しいいのちを与える。聖霊は、助け主として魂にくだる。人を生れ変らせる神の恵みの力によって、神のみかたちが、弟子のうちに再現され、彼は新しい人間となる。愛が憎しみに入れ代り、心は神のみかたちにかたどられる。『神の口から出る一つ一つの言で生きる』というのは、このことである (マタイ 4:4)。これが天からくだるパンを食べることである。」(各時代の希望中巻 141)

5. 光を反射する

a. この暗い世の最も差し迫った必要は何ですか (マタイ 5:14-16)。

「神の恵みの富、はかり知ることのできないキリストの富を世界に伝えるための神の生きた通路になるという特権は、だれにでも与えられている。キリストは、他の何ものにもまして、キリストのみ霊と品性とを世界に代表する器があらわれるのを望んでおられる。人間によって救い主の愛があらわされることほど、世界が求めているものはない。人の心に喜びと祝福を与える清い油を注ぐことができる管を、全天は待っているのである。」(キリストの実物教訓 395)

b. わたしたちの生活の焦点は何であるべきですか。またこれを通してどの結果が達成されますか (ガラテヤ 2:20; イザヤ 60:1-3)。

「『キリストのうちに宿るとは、キリストの意向だけを選ぶことであり、それによってこのお方の関心があなたがたの関心と一つになることである。あなたがたがこのお方のみ旨通りの者となり、またみ旨通りの事をなすために、このお方のうちに宿りなさい。これらが弟子となる条件である。そしてこれに応じない限り、あなたがたは決して休息を見出すことができない』。」(エレケッド・メッセージ 1 巻 110)

「神のことばは、聖霊の働きによってそれを受け入れる人の心を変える光になる。人びとの心に、みことばの原則を植えつけることによって、聖霊は、彼らの心の中に神の性質をめばえさせる。神の栄光の光、すなわち、神の品性が、神に従う者のなかに輝き出なければならない。」(キリストの実物教訓 390)

個人的な復習問題

1. 人類の窮状を説明しなさい。そしてそのために何ができますか。
2. なぜキリストとの偶然の接触では不十分なのですか。
3. 福音に失望している人に、あなたは何を語りますか。
4. わたしたちの聖化において、聖書と証の書は、何の役割を果たしますか。
5. あなたの感化力は、どのように他の人々にとって元氣回復の源となることが出来ますか。

準備する

「すべての人と相和し、また、自らきよくなるように努めなさい。きよくならなければ、だれも主を見ることはできない。」（ヘブル 12:14）

「われわれは、自分たちの生活と聖い行状とによって、……救い主イエス・キリストの輝かしい出現を待ち望んでいることを、周囲の人々に示しているだろうか。」（初代文集 210）

推奨文献： 教会への証 5 巻 217-228, 743-746

日曜日

8月20日

1. 日常的なわなを避ける

a. 今日、自称宗教界で、どの危険な偽りがますます教えられていますか。また聖書はこれをどのように反証していますか（ヤコブ 2:14, 20-22, 24）。

「今日、講壇から次の言葉が述べられている、『信じなさい、ただ信じなさい。キリストを信じる信仰を持ちなさい。あなたに古い律法は関係がない。ただキリストに信頼しなさい』。これは、行いのない信仰は死んだものであると宣言した使徒の言葉と、なんと異なることであろう。」（信仰と行い 89）

「なんの努力も克己も、世俗の愚かさからの分離をも要求しない安易な宗教を望む心が、ただ信じさえすればよいという一般うけのする信仰の教義をつくり上げた。……〔ヤコブ 2:14, 21, 22, 24 引用〕。

神の言葉の証言は、この、行ないを伴わない信仰という人を惑わす教義に反対している。あわれみを受ける条件に従わずに神の恵みを受けることができると主張することは、信仰ではなくて、臆断である。なぜなら、真の信仰は、聖書の約束と規定とに基づくものだからである。

神の要求を一つでも故意に犯していながら、清くなれると信じて、自分を欺いてはならない。罪と知りながらそれを犯すことは、聖霊のあかしの声を沈黙させ、魂を神から引き離すものである。「罪は不法である。」そして、『すべて罪を犯す者〔律法を犯す者〕は、彼を見たこともなく、知ったこともない者である』（ヨハネ第一 3:4, 6)。」（各時代の大争闘下巻 201）

2. 真に救いの計画を受け入れる

a. 真の救いに向かう第一歩は何ですか (使徒行伝 2:37, 38; ローマ 5:1)。

「カルバリーの十字架にかけられた神の小羊をながめる時はじめて、説明することのできない贖罪の神秘がわたしたちの心にも理解され、神の慈愛がわたしたちを悔い改めへと導くのである。キリストは罪人のために死なれて、はかり知れぬ大きな愛をあらわされた。罪人がこの愛を知るとき、深い感銘を受けて心はやわらげられ、悔い改めへと導かれるのである。」(キリストへの道 29)

「悔い改めとは罪を悲しむことと罪を離れることを含む。人は罪の恐ろしさを知るまでは罪を捨てるものではない。心の中で全く罪から離れなければ、生活にほんとうの変化は起らない。」(同上 22)

b. キリストに従う人々にとって、どの重要な真理が、最高の重要性を持っていますか (ヘブル 12:14; ペテロ第一 1:13-16)。

「聖潔とは神との同意である。」(教会への証 5 巻 743)

「罪人が悔い改めて、贖罪の血によって神と和解するとき、キリスト者の生活ははじまったばかりである。彼は、『完全を目指して進』み、『キリストの満ちみちた徳の高さにまで』成長しなければならない。」(各時代の斗争闘下巻 198)

「キリストの功績を通して、このお方の義を通して、これは信仰によってわたしたちに着せられるのであるが、わたしたちはクリスチャン品性の完全に達しなければならない。わたしたちの日ごと、時間ごとの働きは次の使徒の言葉に明記されている『信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを仰ぎ見つ』(ヘブル 12:2)。……

神の愛、このお方の憐れみ、その善の現れと、心に働きかけてこれを啓発し新たにする聖霊の働きは、信仰を通して、わたしたちをキリストとの非常に緊密なつながりへ置くので、このお方のご品性をはつきりととらえ、わたしたちはサタンの巧みな欺瞞を識別することができる。……

兄弟姉妹がた、わたしたちは眺めることによって変えられていく。神とわたしたちの救い主の愛を熟考することによって、神聖なご品性の完全さを瞑想し、信仰によってキリストの義をわがものと主張することによって、わたしたちは同じ姿へと変えられなければならない。」(教会への証 5 巻 744)

3. 達成可能な目標

- a. 平安のうちにわたしたちの主にお会いするための準備において、わたしたちのための神のご計画は何ですか (マタイ 5:48; 詩篇 101:2)。

「キリストが聖所を清めておられる間に、地上の礼拝者たちは注意深く自分たちの生活を省みて、自分たちの品性を義の標準と比較すべきである。彼らが自分の欠点を見るとき、彼らはサタンの誘惑に抵抗するための道徳的な力を得させ、また標準の完全さに到達させる神の御霊の助けを求めるべきである。彼らは人性にとって強すぎて耐えられないと思える誘惑に対して勝利者となることができる。なぜなら、神聖な力が、彼らの人間的な努力に結合するからである。」(キリストを映して 296)

「からみつく罪と戦い、克服しなければならない。品性の好ましくない特質は、先天的でも後天的でも、個別に取り上げ、義の偉大な規則と比較すべきである。そして神のみ言葉から反射している光のうちに、キリストの力を通して、それらにしっかりと抵抗し、打ち勝つべきである。」(クリスチャン教育の基礎 113)

- b. 表わされた神のみ旨の光のうちに歩むことによって、なぜわたしたちは完全のために奮闘すべきなのですか (コリント第一 9:24, 25; ペリピ 3:12-14)。

「光のうちに歩むとは、品性の芳しさのうちにキリストを表そうと熱心に努めることにおいて、決意し、思想を働かせ、意志の力を発揮することである。それはすべてのの暗がりを追ひ払うことを意味する。あなたは『わたしは神の子である』と単にいうだけで満足して安んじてはならない。あなたはイエスを眺めているであろうか。そして眺めることによって、このお方に似た姿に変えられつつあるであろうか。光のうちに歩むとは、霊的な達成において前進し、進歩することを意味する。」(神のむすこ娘たち 200)

「過去にどんな過失や失敗があろうと、神の助けによってこれに勝利することを得……る。」(ミストリー・オブ・ヒーリング 501)

- c. 本物の道徳的な義を切望する人々に、何が約束されていますか (エペソ 3:16; マタイ 5:6)。

4. わたしたちの緊急な必要のための真剣な強さ

- a. 最後の争闘において立つことができるように、どのようにわたしたちは備えをすることができますか (エレミヤ 15:16)。

「聖書の真理によって心を堅固にした人たち以外には、だれも最後の争闘に耐え抜くことはできない。」(各時代の争闘下巻 359)

- b. わたしたちは自分の信心の習慣において献身を増し加えることにより、どのように神のみ旨をより良く知るために益することができますか (ヨハネ第一 5:14; 詩篇 119:129-131)。

「証が読まれず、正しく評価されていない。神はあなたに語ってこられた。光がこのお方のみ言葉と証から輝いてきた。そして両方とも軽視され、無視されてきた。結果はわたしたちのあいだの純潔と献身と熱心な信仰の欠如において明らかである。

各自が心に自問しよう。『わたしたちはどのようにこの霊的な弱さと不和の状態に陥ってしまったのか。わたしたちは自分たちの行動が自分たちの信仰に見合わないために神のご不興を自らの身に招いてきたのではないだろうか。』(教会への証 5 巻 217)

「密室での祈りと、神のみことばの研究を怠っていないか気をつけよう。これこそ私たちが天国へ進むのを妨げようと努力しているサタンに対する武器である。祈りと聖書研究を一度怠れば、次に怠ることはいつそう容易になる。」(青年への使命 88)

- c. 靈感によって記された書き物の中に明らかに示された神のみ旨に、心を尽くした 100 パーセントの従順を捧げることが、なぜきわめて重大なのですか (ヤコブ 1:21-25)。

「神は人生の小さなことにおける不忠実を見のがされると、サタンは多くの者に思いつまさせている。しかし、主は、ご自分が、悪を是認することも大目に見ることもなさらないかたであることを、……示された。罪の言いわけをしたり、隠したりして、それを告白せず、許されないまま、天の書に残しておく者は、みなサタンに負けてしまうのである。」(各時代の争闘下巻 393, 394)

「神は質問したり、疑ったりせずにご自分のみ言葉に従う忠実な人々のために力強く働かれる。」(教会への証 4 巻 164)

5. 精錬の過程に服する

a. 聖化の過程を説明しなさい (ヨハネ第一 3:1-3; ヘブル 5:12-14; 6:1)。

「キリストの義のかおりによつてはじめて、人は完全に従順になることができる。キリストの義は従順な行為の一つ一つを神の香気で満たす。クリスチャンの役割は、一つ一つの罪に辛抱強くうち勝つことである。……

毎日、神は人の聖化のために働いて下さる。だから人は、神に協力して、辛抱強く、正しい習慣を養う努力をしなければならない。……われわれの救い主は、悔いる心を持つ者の祈りを聞き、それに答える準備がいつでもできておられる。そして恵みと平安が、忠実な者たちの上に増し加えられるのである。主は、彼らを悩ます悪との戦いに必要な祝福を、喜んで彼らに与えて下さる。」(患難から栄光へ下巻 232)

b. この工程に頑なに抵抗しないということが、なぜきわめて重大なのですか (エペソ 4:30)。

「聖霊の訴えに一度さからえば、次にまた逆らう道が開ける。こうして心はかたくなり、良心は無感覚になる。

一方また、誘惑と戦うたびに、抵抗はいつそう容易になる。自己を抑制するたびに、克己はますます容易になる。勝利を得るたびに、新しい勝利への道が開ける。誘惑への抵抗、克己、罪への勝利の一つ一つは永遠の生命をむすぶためにまかれた種子である。」(青年への使命 88, 89)

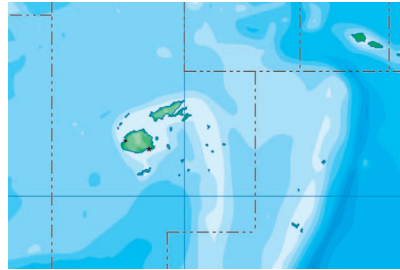
個人的な復習問題

1. どの偽りの考えが多くの自称クリスチャンたちを憶測へと導いていますか。
2. わたしは、どのように自分の悔い改めのレベルが浅すぎなかったかを見極めることができますか。
3. 神が本当にわたしの欠点に打ち勝つのを助けようとしておられることを、どのように確信することができますか。
4. わたしは他の本と比べて、証の書にどれくらいの時間をかけていますか。
5. 神が永遠の命のために種をまくよう動機づけて下さる方法を説明しなさい。

第一安息日献金

フィジー・ミッションの本部のために

フィジー共和国は南太平洋にある火山島群で、およそホノルルから南西へ 4450 キロメートル、ニュージーランドから北へ 1770 キロメートルのところにあります。332 の島々が群島をなしていますが、およそ 106 の島に住民がいます。フィジーは熱帯気候、砂浜、青々とした植物、豊富な果物、野菜、根菜を享受しています。フィジーには 903,207 の人口がいるとされ、先住民のフィジー人（イタウケイ）—大部分はメラネシア人とポリネシア人の混血が 56.8%、インド・フィジー人が 45%、そして他の人種が 7%です。公用語は英語です。フィジー語とヒンズー語も大部分の人々が話します。かつては、フィジーは食人で知られており、優位性の象徴として、大きな先住民の首長たちによって広く行われていました。フィジーにおけるキリスト教時代の夜明けは、1835 年にやってきたメソジスト派伝道者の到着によって始まりました。速やかに広まった福音により、食人と魔術の邪悪な習慣は両方とも完全に一扫されました。今日、わたしたちの人口のうち最も多いのはクリスチャンで、45%がプロテスタント、27.9%がヒンズー教、10.4%が他のキリスト教、9.1%がローマ・カトリック、6.3%がイスラム教で、0.3%がシーア派、そして 0.8%が無宗教です。



改革のメッセージがわたしたちの地域に入ってきたのは、伝道者たちが訪問し、4 人の魂にバプテスマを授けた 1974 年です。1997 年に働きは再度建て直され、さらに 30 人の魂がバプテスマを受けました。成長は続いています。この地上の物質には貧しいですが、この信徒たちは意欲的に福音を広め、山岳地方、諸都市、遠隔の島々など新しい求道者たちに伝えています。

わたしたちは 2015 年に四分の一エーカーの自由保有権を持った不動産を確保し、現在礼拝を行っている小さなホールを建てました。わたしたちの教会員の数が増えていることを考慮するとき、現在最も緊急に必要とされているのは、礼拝堂と、本部と文書配布のためのオフィスです。わたしたちは、主が皆さんの心に触れて、フィジーにおけるこの地域の必要に答えて下さるように熱心にお祈りします。皆さんが惜しみなく捧げて下さるとき確かに祝福が訪れ、本部は神に栄光を帰す記念碑として立つことができます。「与えよ。そうすれば、自分にも与えられるであろう。人々はおし入れ、ゆすり入れ、あふれ出るまでに量をよくして、あなたがたのふところに入れてくれるであろう。あなたがたの量るその量りで、自分にも量りかえされるであろうから」（ルカ 6:38）。皆さんの、親切的な惜しみない心に先立ってお礼申し上げます。

フィジーミッションから皆さんの兄弟姉妹がたへ

主人のために働く

「全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ。」(マルコ 16:15)

「主を待ち望んでいる者たちは真理に従うことによって自らの魂をきよめる。彼らは油断のない警戒に熱心な働きを結合する。彼らは、主が戸口におられることを知っているので、魂の救いのために天使たちと協力して働くように熱意をよび起こされる。」(各時代の希望下巻 103)

推奨文献： 教会への証 2 巻 189-199;
同上 6 巻 404-410

日曜日

8 月 27 日

1. 主の主との共労者

- a. どの基礎に基づいて、すべてのキリスト教信徒は一男でも、女でも、既婚でも、未婚でも、裕福でも、貧しくても、あるいは何歳であっても、どの民族的な背景を持っていても—自分の主であり主人であられるイエス・キリストのために証をするよう正式な権限が与えられ、命じられていますか (ヨハネ 15:16; ガラテヤ 3:27, 28)。

「『全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ』(マルコ 16:15) とは、キリストに従う者にあたえられる命令である。だれでもみな字義通りの伝道者や宣教師になるように要求されているというのではない。それはわれわれがみなキリストと共に働く者となって『よろこびのおとずれ』を同胞に伝えなくてはならないことを意味している。偉い人にも、凡庸な人にも、学問のある者にも無知な者にも、老人にも青年にも、すべての人にこの命令は与えられているのである。」(教育 312)

「わたしがほとんど働きのなされていない諸都市、すなわちまもなく救い主が来臨されることについて警告を受けるべき幾千の人々がいるところを見るとき、男女が御霊の力のうちに、滅びつつある魂のためのキリストの愛に満たされて出ていくのを見たいという激しい願いを感じる。」(伝道 69)

- b. 福音の最後の働きにおいて特別な役割を担うことに、どのグループも確かに含まれていますか (ヨハネ第一 2:14 下句)。

2. 今日のためのメッセージへの献身

- a. わたしたちの時代に、「永遠の福音」には、どのような特別な意味がありますか（伝道の書 12:13, 14; 黙示録 14:6, 7）。

「さばきの宣布は、キリストの再臨が近いことを知らせている。そしてこの宣布は永遠の福音と呼ばれている。このようにしてキリスト再臨のことを説教して、その切迫を告げることが福音メッセージの本質的部分であることが示されている。」（キリストの実物教訓 207）

- b. 再臨のメッセージに密接に関連しており、また実際にそれをよりよく理解するためにわたしたちの助けとなる一つの要素を挙げなさい（ローマ 12:1; テサロニケ第一 5:23）。

「健康改革は、主の来臨に民を備えさせる大いなる働きの一分野である。それは手が体につながっているように、第三天使のメッセージに密接につながっている。」（健康についての勧告 20, 21）

「福音と医事伝道事業は、共に前進しなければならない。福音は真の健康改革の原則と結合しているべきである。……我々は健康改革の原則を人々の前に示し、これらの原則の必要を悟って実行するよう男女を導くため全力を尽くすべきである。」（食事と食物に関する勧告 417, 418）

- c. 救いの素晴らしいメッセージを広く伝えるよう、何が信徒たちをかり立てますか（コリント第二 5:14, 15）。

「イエスを愛するならば、人類の祝福と向上のために、イエスが働きたもうたように働きたいと望むようになる。そして、天の父の保護のもとにあるすべての造られたものをやさしく愛し、同情するようになる。……

人は、ひとたびキリストに来るやいなや、イエスはいかに尊い友であるかを他の人に知らせたいと望む。人を救いきよめる真理は、どうしても心のうちに秘めておくことはできない。」（キリストへの道 105, 106）

3. 満たされるために空にされる

- a. 終わりの時代に生きているわたしたちのために、どの訓告がはっきりとした力をもっていますか (テサロニケ第一 5:1, 2, 6-8)。

「見張りの途中で眠っているところを見いだされないようにしましょう。だれも心の中や自分の行いによって、『わたしの主が来るのは遅い』と言うことがないようにしよう。キリストがまもなく来られるというメッセージを真剣な警告の言葉によって鳴り響かせよう。どこでも男女に悔い改めて、来るべき怒りから逃れるように説得しよう。彼らを目覚めさせて直ちに準備させよう。なぜなら、わたしたちは自分たちの前にどれほど少ししか時間がないかわからないからである。牧師や信徒は色づいている畑へ出ていこう。」(主は来られる 106)

「愛は信心の基礎である。たとえ、口でなんと言おうと、もし、兄弟に対する無我の愛をもたないならば、神に対する純粹の愛をもっていない。しかし、他人を愛そうと努めることによって、この精神を得ることはできない。必要なのは、心の中にキリストの愛が宿ることである。自己がキリストの中にとけこむとき、愛は自然にわいて出る。他を助け、祝福しようとする気持ちが常に内からわき出……るとき、クリスチャンの品性が完成の域に達するのである。」(キリストの実物教訓 362)

- b. もし正直に言って、自分がこのメッセージに感じるべきだとわかってるほど熱心に感じていないとしたら、あなたはどうすべきですか (ヨハネ第一 4:20, 21; 黙示録 2:2-5; 3:18, 19)。

「わたしたちにラオデキヤ教会へのメッセージが必要である。あなたがたはあなたがたのはじめの愛から離れてしまった。そして一お気に入りのわずかな人々のためを除いては一頑なさ、冷たさ、同情の欠乏がある。それは決して世界において目的に答えることはない。わたしたちは失われているものをたずねて、救わなければならない。」(原稿リ-ス 9 巻 61)

「あなたの最初の経験、あなたの魂がキリストのための愛に満たされた時に戻りなさい。あなたの心に愛によって働き、魂を清める信仰の従順を集めなさい。主の律法への従順は人を清め、聖なるものとし、汚されないようにする。……

悔い改めと改革の深く徹底的な働きが、わたしたちの民の間で見られるならば！彼らが岩の上に落ちて、碎かれるならば！」(レビュ・アソド・ヘラルド 1903 年 2 月 24 日)

「真理を聞いて、自分たちの悪い行いを悔い改めるすべての人に希望がある。」(原稿リ-ス 11 巻 216)

4. 神の栄光があらわされる

- a. 時の召しは何ですか。またわたしたちはそれにどのように応じるべきですか（イザヤ 56:1-8）。

「〔主は〕今、地上のご自分の教会に、サタンが彼らの上にもたらそうとしてきた昏睡状態から目覚め、天から任命された世を啓発する働きを果たすよう求めておられる。……

今日、世界はキリスト・イエスの聖徒たちの中に表されたこのお方の啓示を緊急に必要としている。神はご自分の民が世の前に聖なる民として立つことを望んでおられる。なぜか―それは福音の真理の光によって救われるべき世界があるからである。そして人々を暗闇から神の驚くべき光に招く真理のメッセージが教会によって伝えられるとき、真理の御霊によって聖化された教会員の生活が宣布されているメッセージの真実性に対する証を担うべきである。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1910 年 3 月 31 日）

- b. 魂を救うための働きにおけるキリストの方法を述べなさい（ルカ 14:23; ヨハネ 4:27）。

「主はめぐみのみことばがすべての魂に深い感銘を与えることを望んでおられる。

このことは大部分個人的な働きによってなしとげなければならない。これがキリストの方法であった。キリストの働きは大部分個人的な面談によってなされた。主は、一人の聞き手に心からの配慮をおもちになっていた。しばしばその一人の魂がイエスから聞いた話を数千の人々に伝えたのである。」（キリストの実物教訓 209）

- c. 神のために働くとき、どの精神が必要とされていますか（使徒行伝 10:38; コリント第二 12:15）。

「真の伝道のキリストの定義を研究しなさい。『だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい』（マルコ 8:34）。キリストに従うとは、これらの言葉の中で語られているように、見せかけや茶番ではない。イエスはご自分の弟子たちがご自分の御足のあとに近く従い、ご自分が耐えられたことに耐え、ご自分が苦しまれたことを苦しみ、ご自分が勝利されたように勝利されることを期待しておられる。このお方はご自分に従うと公言している人々が自己犠牲の精神を表すのを見たいと切望して待つておられる。」（教会への証 8 巻 209）

5. 甚大な特権

- a. わたしたちは互いに魂の救いにおいて、どのように協力できますか。またわたしたちの最も熱烈な願いと祈りは何であるべきですか (ローマ 10:13-17; ルカ 11:13)。

「わたしたちはキリストのみ事業においてもっと大きな熱心さが必要である。真理の厳粛なメッセージは、神がわたしたちの努力と共に働いておられること、いと高きお方がわたしたちの生きた力の源であることを不信者たちに印象づけるような激しさと伝えられるべきである。」(伝道 697)

「わたしはある人々が他の刺激的な本を読んで、現代の真理と聖書を愛する心から引き離されていくのを見た。また、他の人々は、飲食や衣服のことで心が悩みと苦勞に満たされていた。ある人々は、主が来られるのははるか遠い先のことだと思っている。時は、彼らが期待したよりは数年長く続いた。そのために彼らは、時がさらに数年続くものと考えて。このようにして、彼らの心は、現代の真理から引き離されて世に従っていく。わたしはこうしたことのなかに大きな危険を見た。もしわれわれの心が他のことで満ちているならば、現代の真理は心からしめ出されて、額には生ける神の印を押す場所がない。イエスが至聖所におられる時は、ほとんど終了し、時は、あとわずかししか続き得ないことをわたしは見た。われわれの空いた時は、聖書の研究のために費やさなければならない。この聖書が、最後の日にわれわれを審くのである。

愛する兄弟姉妹がた、神の戒めとイエス・キリストのあかしを常に心に抱いていよう。そして、それに世の思いと煩いを閉め出していただこう。寝る時も起きる時もこれを瞑想しよう。人の子の来られることを常に考えて生活し、すべての行動をとろう。印する時は、非常に短くやがて過ぎ去ってしまう。」(初代文集 129, 130)

個人的な復習問題

1. なぜ、現代の真理を他の人々に伝える働きを免除されている人はひとりもないのですか。
2. 「永遠の福音」によってわたしたちは何を理解すべきですか。
3. なぜ、布教活動が時代遅れのときに、ラオデキヤメッセージが必要なのですか。
4. わたしたちのメッセージの真実性を世が疑うようにさせてきた原因は何ですか。
5. 真理のための場所をもっと空けるために、わたしは自分の思いからどの思想を切り捨てることができますか。

神のタイミングの知恵

「ある人々がおそいと思っているように、主は約束の実行をおそくしておられるのではない。ただ、ひとりも滅びることがなく、すべての者が悔改めに至ることを望み、あなたがたに対してながく忍耐しておられるのである。」(ペテロ第二 3:9)

「このメッセージの当初にわたしたちが期待していたよりも時が長く延び続けているのは事実である。わたしたちの救い主はわたしたちが望んでいたほどすぐにはおいでにならなかった。しかし、主のみ言葉が実現されなかったものであろうか？断じてそうではない。神の約束と威嚇は同様に条件があることを覚えているべきである。」(伝道 695)

推奨文献： セレクトド・メッセージ 1 巻 185-192

初代文集 126-130, 145-153, 210-215

日曜日

9月3日

1. 神の同情

- a. ご自分が創造されたすべての人のための神の目標を説明しなさい (テモテ第一 2:3-6)。

「神は寛容であられ、一人も滅びることを望んでおられない。しかし、このお方の寛容には限界があり、境界を越えると、第二の恩恵期間はない。このお方の怒りが発せられ、救済策なく滅ぼされるのである。」(ユース・インストラクター 1905 年 3 月 28 日)

- b. なぜ主はイスラエルの民が直接約束の地を所有することをお許しになることができなかったのですか (ヘブル 3:7-11)。

「神はご自分の民、イスラエルが荒野を 40 年もさまようようにご計画されたのではなかった。このお方は直接カナン之地へ彼らを導き、そこで彼らを聖なる、健康な、幸せな民として定住させると約束されたのであった。しかし、はじめにそれが宣布された人々が入らなかったのは、『不信仰のゆえ』であった (ヘブル 3:19)。」(伝道 696)

2. 一見遅れと見える理由

a. 信徒として、わたしたちは今日の危険に直面していますか（ヘブル 3:12, 13）。

「不信、つぶやき、反逆が 40 年間昔のイスラエルをカナン之地から締め出したのであった。同じ罪が現代のイスラエルが天のカナンへ入ることを遅らせてきた。いずれの場合も神のみ約束に落ち度はなかった。わたしたちをこの罪と悲しみの世にこれほど長い間とどめてきたのは、主の民だと公言する人々の間の不信、世俗、献身しないこと、そして争いである。」（伝道 696）

b. なぜ主がその来臨を遅らせておられるように見えるのですか（ペテロ第二 3:9）。

「薄暗がりの夜はつらいが、朝は憐れみのうちに遅れている。なぜなら、もし主人が来られたら、非常に多くの人々が準備のできていないところを見られるからである。神がご自分の民が減びるのと望んでおられないことが、これほど遅れている理由となってきた。」（同上 694）

「イエスは、世界をあわれんで、彼の再臨を延ばしておられる。それは、罪人に警告を聞く機会を与え、神の怒りが注がれる前に、主のうちに避難させるためである。」（各時代の大打闘下巻 183）

c. この地球を包んでいる霊的な暗がりを多く救済する立場にいるのはだれですか（ペテロ第二 3:11, 12; コリント第一 15:34）。

「主は憐れみのうちに、いま誤謬の闇の中を手探りしている人々の理解力を啓発しようとしておられる。このお方はご自分の光を担う人々が失われている人々をたずね、救うことができるために、悔い改めない世界に下すご自分のさばきを延ばしておられる。」（ビュー・アソド・ハルト 1910 年 3 月 31 日）

d. わたしたちはどのようにしてイエスの来臨を早めることができますか（コリント第二 5:20; マタイ 24:14）。

「世に福音を伝えることによって、主の再臨を早めることが、われわれの力でできる。われわれは神の日の到来を待っているだけでなく、これを早めるのである。」（各時代の希望下巻 101）

3. 物事を加速するための追加的な力

- a. 福音を伝えることは、終わりの時代に、どのように頂点に至りますか（ゼカリヤ 10:1; ヨエル 2:23）。

「福音の大いなる働きは、その開始を示した神の力のあらわれより劣るもので終わることはない。福音の開始にあたって秋の雨（前の雨）となって成就した預言は、その終局において、春の雨（後の雨）となって再び成就するのである。これが、使徒ペテロが待望した「慰め〔原文では refreshing（活気づけ、回復の意）〕の時」である。」（各時代の争闘下巻 382）

- b. 後の雨—制限のない神の御霊の注ぎ—を委ねられるために、何が必要とされていますか（ヨエル 2:17, 18; 使徒行伝 3:19, 20）。

「すべての罪、誇り、利己心、世を愛する心、すべての悪い言葉や行為に勝利するのでなければ、だれひとりとして、『慰め』にあずかることができないのを、わたしは見た。であるから、われわれは、ますます主に近づき、主の日の戦いに立ち得るために必要な準備をするように、熱心に求めなければならない。神は聖であられて、神のみ前に住むことができる者は聖なる者だけであることを、すべての者が覚えていようようにしよう。」（初代文集 150）

「心は聖霊の内住のためにすべての汚れをなくし、清められなければならない。初期の弟子たちがペンテコステの日の聖霊の注ぎのために準備をしたのは、罪を告白し捨てることによってであった。同じ働きが、たださらに大規模に、今なされなければならない。」（牧師への証 507）

「聖霊のバプテスマのために、すべての働き人は神に嘆願すべきである。仲間が特別な助けを、天来の知恵を求めて共に集まり求めるべきである。こうして彼らがどのように賢明に計画し、実行するかを知ることができるためである。特に、神がご自分の牧会に聖霊のバプテスマを授けて下さるように祈るべきである。

神の働き人たちに聖霊のご臨在が共にあるとき、真理の提示に、世のあらゆる栄誉と栄光が与えることのできない力を与える。御霊は苦闘し戦っている魂を、すべての緊急時に、親戚の不親切さや世の憎しみ、また自分自身の不完全と過ちの自覚のただ中で支える力を備えるのである。」（教会への証 8 巻 22）

4. 全知者は最善をご存じである

- a. 神の知識において前進する際にも、このお方はどの情報をわたしたちに与えずにおく権利を保有しておられますか。それはなぜですか (使徒行伝 1:6, 7)。

「神はわたしたちに、このメッセージが終わる時、あるいは恩恵期間が終わる時について明らかにしてこれなかった。……全能者の会議で秘密にされてきたことを知ろうとしないようにしましょう。」(セクレッド・メッセージ 1 巻 191)

「再び、神の民のために時を基礎としたメッセージがおこることは決してない。わたしたちは聖霊の降下であれ、あるいはキリストの来臨であれ、定まった時を知ることはない。……

『主はわたしにメッセージが伝えられなければならないこと、またそれは時に関わるものではありえないことを示された。なぜなら、時は二度とテストとはならないからである。わたしはある人々が時を宣布することから生じる誤った興奮にわきたっていること、第三天使のメッセージはそれ自体の基礎の上に立つことができ、それを強めるために時を必要としていないこと、またそれは強力な力によって伝えられ、その働きをなし、義のうちに短くされることを見た』。(同上 188)

- b. この事において、わたしたちはなぜ神の知恵に満足すべきなのですか (申命記 29:29)。

「最初のメッセージ宣布に当たって、審判の明確な時を伝えることは、神の命令であった。このメッセージの根拠をなす預言期間の計算が、2300 の終わりを 1844 年の秋であると定めたことは、非難の余地がない。預言期間の始まりと終わりの新しい年代を発見しようとくり返し努力し、そうした主張を支持するのに必要な不健全な推論をすることは、人々の心を現代の真理から引き離すだけでなく、預言の解説に対するあらゆる努力を軽べつするものである。再臨の明確な時が、何度も定められれば定められるほど、そしてそれが広く伝えられれば伝えられるほど、それだけいつそうサタン目的にかなうのである。時が過ぎ去ると、サタンはその支持者たちをあざけり軽べつして、1843 年と 1844 年の大再臨運動をも非難するのである。このような誤りを犯し続ける者は、ついにはキリストの再臨をはるか遠い将来に定めるようになる。こうして彼らは、誤った安心感を抱くに至り、多くの者がその惑わしに気づいたときには、すでにおそすぎるのである。」(各時代の大争闘下巻 181)

5. 差し迫った宣布

- a. 天からまもなくどのような宣言がなされるようになりますか。また、これはなぜすべての死すべき人間にとってこれほど厳粛な重要性を持っているのですか（黙示録 22:11）。

「悩みの時に、聖所に大祭司がおられないで神のみ前に生きるためにはどのような状態でなければならないかを悟っていない人が多くあるのを見た。生ける神の印を受け、悩みの時に保護される人々は、イエスのかたちを完全に反映していなければならない。

わたしは、多くの人々が、必要な準備をおろそかにしていながら、主の日に立ち得て神のみ前に生きるにふさわしいものとなるために、『慰めの時』と『春の雨』（後の雨）とを待っているのを見た。ああ、わたしは、なんと多くの人々が、悩みの時に、避け所がないのを見たことだろう。彼らは必要な準備を怠った。だから、彼らは、聖なる神の前に生きるのに適したものと彼らをするためにすべての者が持たなければならない慰めを、受けることができなかった。預言者に切り刻まれることを拒み、すべての真理に従って、魂を清めることをしない者、そして、自分たちは、実際よりは、はるかによい状態にあると思いついでいる人々は、災害がくだるときになって、自分たちが建物に合わせて切り刻まれ、四角にされなければならないことを悟るのである。しかし、その時には、そうする時間もなく、天の父の前で彼らの執り成しをしてくださる仲保者もおられない。……〔黙示録 22:11 引用〕。」（初代文集 149）

「キリストのとりなしが天の聖所でやむときに地上で生きている人々は、仲保者なしに聖なる神の御前に立たなければならない。彼らの衣はしみのないものでなければならない。彼らの品性は血の注ぎによって罪から清められていなければならない。神の恵みと自分自身の勤勉な努力を通して、彼らは悪との戦いにおいて勝利者とならなければならない。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1907 年 1 月 17 日）

個人的な復習問題

1. イスラエルがカナンに入るのが遅れたことから、わたしたちは何を学ぶべきですか。
2. 今日、天のカナンに入ることが遅れている主たる原因はだれですか。
3. この出来事に後の雨はどのように関連していますか。またそれが来るようにできるのは何ですか。
4. 後の雨の主たる目的とそのタイミングを説明しなさい。
5. 神がこの慰めをわたしに委託してくださることができるよう、わたしは何をする必要がありますか。

大いなる叫びへと盛り上がる

「わたしは、かわいた地に水を注ぎ、干からびた地に流れをそそぎ、わが霊をあなたの子らにそそぎ、わが恵みをあなたの子孫に与えるからである。」(イザヤ 44:3)

「御霊こそわたしたちが力を受ける手段なのであれば、なぜ、わたしたちはその賜物に飢え渇かないのであろうか。なぜ、それについて話し、そのために祈り、それについて説教しないのであろうか。」(教会への証 8 巻 22)

推奨文献： 教会への証 1 巻 179-184; 8 巻 14-23

日曜日

9月10日

1. 力をもって教えられる回復

a. 主にお会いするための準備において、どの預言が特別な意味を持っていますか(マラキ 4:5)。

「この時代、天の雲に乗ってキリストが二度目に来られる直前に、神は主の大いなる日に民が立つための準備をさせる人々を召しておられる。」(SDA パイプ・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 4 巻 1184)

b. この預言の第一の適用を、イエスはご自分の弟子たちにどのように説明なさいましたか。またこれは今、わたしたちの働きとどのように関連していますか(マタイ 17:11-13)。

「キリストの再臨のために道を備える人々は、ヨハネがエリヤの霊のうちにキリストの初臨のための道を備えたように、忠実なエリヤによって表されている。改革の大主題がかきたてられ、民衆の思いが活動させられなければならなかった。万事における節制がこのメッセージと関連づけられ、神の民の思いを偶像礼拝、暴食、また衣服や他のことにおける浪費から引きもどさなければならなかった。」(教会への証 3 巻 62)

2. 主の道を備える者

- a. バプテスマのヨハネはどのような力強いメッセージを宣布しましたか。またなぜわたしたちも同様にすることがふさわしいのですか(ルカ 1:16, 17; マタイ 3:2, 8)。

「〔バプテスマの〕ヨハネはユダヤ国民があざむかれ、自己満足に陥り、罪の中に眠っているのをみた。彼は彼らをもっときよい生活にめざめさせたいと願った。神がヨハネに伝えさせられたメッセージは、国民を情眠からびつくりしてめざめさせ、自分たちの大きな悪におそれおののかせるためであつた。福音の種が足場を得ることができる前に心の土がくだかれねばならない。イエスのいやしを求める前に罪の傷からの危険についてめざめなければならない。

神は罪人を甘やかすために使者をお送りにならない。神はきよめられていない者をだまして致命的な安全感を持たせるために平和のメッセージをお送りにならない。神は悪を行う者の良心に重荷をおき、その魂を罪の自覚という矢で刺し通される。」(各時代の希望上巻 104～105)

- b. エリヤのメッセージがどのように家族の生活を回復するものであるか—どのようにバプテスマのヨハネの働きのように予表されていたかを含めて—実例を挙げなさい(マラキ 2:13-17; 4:6)。

「ヘロデは、自分の兄弟がまだ生存しているのに、その妻をめとろうとしていた。ヨハネはそのことを知っていたので、それが正しくないことを忠実にヘロデに告げた。」(初代文集 268)

- c. 「エリヤの霊と力」を特徴づけているものは何ですか。またこのメッセージを今日宣布しているのはだれですか(列王記上 18:17, 18, 21; 黙示録 12:17)。

「多くの人々は、自分たちの地位や人気を犠牲にすることがないように、あえて悪を責めようとしなない。そしてある人々は罪を譴責することは愛のないことだと考えている。神の僕は与えるように要求されている譴責に自分自身の精神を混ぜることを決して許すべきではない。しかし、彼は神のみ言葉を、恐れることも媚びることもなく提示するという最も厳粛な義務の下にいる。彼は罪をその正しい名で呼ばなければならない。自分たちの不注意や無関心によって、神のみ名が神の民だと公言する人々によって汚されることを許す人々は、とがある者と共に数えられる一天の書に彼らの悪行にあずかる者として登録されるのである。」(サインズ・オブ・タイムズ 1881年4月21日)

3. 最後の働き

a. 何が、今の緊急な召しを要約していますか（黙示録 14:6-13; 18:1-4）。

「この地上における神の最後の働きにおいて、神の律法の標準はふたたび高められる。偽りの宗教は普及し、不法ははびこり、多くの人の愛は冷え、カルバリーの十字架は見失われ、死のとばりのような暗黒が世界を覆うことであろう。一般の風潮は、あけて真理に反対するであろう。神の民を滅ぼすために次々と策略がめぐらされることであろう。しかし最大の危機において、エリヤの神は、沈黙させ得ない使命の伝達者を起こされるのである。人口稠密な都市において、また、至高者に反対して語ることがその頂点に達した場所において、厳しい譴責の聲が聞かれるのである。神の任命を受けた人々が、大胆に教会と世俗との結合を非難するのである。彼らは人間が造った制度を守ることをやめて、真の安息日を守るように熱心の人々に訴えるのである。」（国と指導者上巻 155）

b. わたしたちの言葉や生活において、何がいつも明白でなければなりませんか（ヨハネ 1:29; 14:12; コリント第二 4:5-7）。

「あわれみに満ちた最後の光、世界に伝えるべき最後のあわれみの使命は、神の愛の啓示である。神の子らは、神の栄光をあらわさなければならない。彼らは、その生活と品性において、神の恵みが彼らのためにどんなことをなしたかを表わさなければならない。

義の太陽の光はよい行ない、一真のことば、清い行ないなどによって、輝き出なければならない。」（キリストの実物教訓 392）

c. 神のみわざは最終的にどのように終わりますか（ゼカリヤ 4:6; イザヤ 28:21）。

「主はこの最後の働きにおいて、通常の物事の順序とは非常にかけ離れた方法、そしてどんな人間の計画にも反するような方法で働かれるであろう。」（伝道 118）

4. 慰め（活気づけ）をどのように受けるか

- a. 後の雨の満ち満ちた力のうちに聖霊を経験するために、かぎとなる重要不可欠な資質について、わたしたちは絶えず何を自覚しなければなりませんか（イザヤ 57:15）。

「いつも神のみ働きを支配したが、働きが世に伝えられるべきメッセージのうちに第三天使に加わる天使の指示の下で進められているときに、どの活動が取られるべきでさえ指示したが人々がいるものである。神は、ご自分がご自身のみ手のうちに手綱を握っておられることがわかるような方法と手段をお用いになるであろう。」（伝道 118）

「一タラントの人々は、二タラントや五タラントをもった人々が伝えられない階級の人々へ手を差し伸べることができる。偉大な者も小さい者も同様に、命の水を喝いている魂に運ぶ選ばれた器である。み言葉を伝えている者は自分の手を最もつましい働き人の上において、『あなたはこの経路で働かなければならない。さもなければ、まったく働いてはならない』と言わないようにしなさい。手をのけられよ、兄弟がた。すべての者は自分自身の領域で、自分自身の武具を身に着けて、自分のできることは何でも自分のつましい方法でやりながら、働こうではないか。働きにおける彼の手を強めなさい。支配するパリサイ主義のための時間はない。神がみ旨にかなう人々を通して働かれるようにしなさい。メッセージは伝えられなければならない。」（教会への証 5 巻 462）

- b. なぜ後の雨が与えられるのですか。またなぜ初期の弟子たちの動機づけによって、わたしたちは鼓舞されるべきなのですか（使徒行伝 1:8; 4:33; エレミヤ 30:5-7）。

「聖霊が注がれたのは、弟子たちが完全な一致に到達し、もはや最高の地位を求めて争わなくなったときであったことに注目しなさい。彼らはひとつに一致していた。あらゆる相違は捨てられていた。……

弟子たちは自分自身のために祝福を求めなかった。彼らは魂の重荷を感じていた。……

クリスチャンたちはすべての不和を捨て去り、失われた者の救いのために神に献身しなさい。信仰のうちに約束された祝福を求めさせなさい。そうすればそれは与えられるのである。」（教会への証 20, 21）

「第三のメッセージが大いなる叫びへと盛り上がり、大いなる力と栄光が最後の働きに伴うとき、神の忠実な民はその栄光にあずかるのである。悩みの時を通過させるために彼らを復活させ強めるのは後の雨である。」（同上 1 巻 353）

5. はなはだしく満足させる！

- a. たった今、どのような機会がわたしたちの前にありますか（テトス 2:13; コリント第二 6:1, 2）。

「わが兄弟姉妹がた、あなたがたの計画を研究しなさい。あなたの隣人や仲間に語る機会、彼らに現代の真理を含んでいる書物から何か読む機会を一つ一つつかみなさい。キリストがこれほどまでに大きな犠牲を払われた魂の救いを第一の重要性を持ったものとみなしていることを示しなさい。

減びつつある魂のために働くとき、あなたは天使との交わりを持つ。千々万々の天使たちは、民が主の来臨のために準備できるように、神が惜しみなく与えて下さった光を伝えるにあたり、わたしたちの教会員と協力しようと待っている。民がキリストの来臨のための準備ができるためである。」（教会への証 9 卷 129）

- b. 聖霊が制限なく注がれるときに、起こる驚くべき結果を描写しなさい（ゼカリヤ 8:23; イザヤ 44:3, 4; 61:11）。

「そして今、それが生えて、実を結ぶのである。伝道者によって配布された文書は、その感化を及ぼした。しかし、感動を受けた人々の多くは、真理を十分に理解して、それに服従することを、妨げられていた。けれども、今、光は至るところにゆきわたり、真理は明らかにされ、神の忠実な子供たちは、彼らを束縛していたかせを絶ち切るのである。家族関係、教会関係は、もはや彼らを止める力がない。真理は他の何物よりも尊いのである」（各時代の大争闘下巻 383）

個人的な復習問題

1. わたしたちの働きとエリヤの働きとバプテスマのヨハネの働きには、どのような類似点がありますか。
2. 今日、十誡に関連してどのように回復が必要とされていますか。
3. 後の雨を受ける人々の品性の資質を要約しなさい。
4. どの根拠に基づいて、わたしはこの驚くべき特権を失う危険性があるかもしれませんか。
5. 後の雨の結果は、なぜ信じがたいほど見て満足するものなのですか。

夜中から明け方へ

「われらの神は来て、もだされない。み前には焼きつくす火があり、そのまわりには、はげしい暴風がある。」(詩篇 50:3)

「イエスは、偉大な勝利者としておいでになる。今度は、恥辱と苦悩の苦い杯を飲む『悲しみの人』ではなくて、天地の勝利者として……。この光景は、人間のどんな筆によっても描くことができない。その輝かしさは、どんな人間の頭でも十分に想像することはできない。」(各時代の大争闘下巻 419)

推奨文献： 各時代の争闘下巻 390-396, 415-434

日曜日

9月17日

1. 最後の時が延ばされている間に……

a. サタンの計画と対照的なキリストのご計画を説明しなさい(ルカ 22:3; ヨハネ第一 9:4)。

「サタンは、……イエスと彼の真理から人々の心をそらすことに、万事がかかっていることを、知っているのである。

救い主の仲保の恵みにあずかりたいと思うものは、神を畏れつつ聖潔を完成していくというその義務を、何ものにも妨げられてはならない。」(各時代の争闘下巻 221)

「神への熱心が、弟子たちを動かして強力な力をもって真理のための証を担わせたのであった。この熱心がキリスト、しかも十字架につけられたキリストの贖いの愛の物語を伝える決心をもってわたしたちの心に灯をとすべきではないだろうか。今日、神の御霊は、熱心で辛抱強い祈りに答えて来られ、人々を奉仕への力で満たさないであろうか。」(教会への証 8 巻 22)

「わたしたちに委ねられている力はみな、無知のうちに滅びつつある人々のための、主によってわたしたちに任命された働きをなすために用いられるべきである。警告のメッセージが世の至る所で鳴り響かなければならない。即刻なされなければならない。真理は地の暗い場所で宣布されなければならない。障害物に直面し、乗り越えなければならない。大きな働きがなされなければならない。そしてこの働きはこの時代のための真理を知っている人々に委ねられてきたのである。」(レビュー・アンド・ハールド 1905 年 11 月 23 日)

2. 激しさは増していく……

- a. わたしたちは地球規模で神の律法を踏みにじることを目的とした三重の連盟について何を悟らなければなりませんか（黙示録 16:13, 14; テサロニケ第一 5:3, 4）。

「争闘が新しい分野に及び、ふみにじられた神の律法に人々の心が向けられるとき、サタンは騒ぎ出す。メッセージに伴う力は、それに反抗する人々を怒らせるだけである。牧師たちは、その光が彼らの群れの上に輝かないようにと、ほとんど超人的な力で、それをさえぎろうとする。彼らは、あらゆる手段に訴えて、これらの重大な問題に関する討論を圧迫しようとする。教会は、政権の強大な権力に訴える。そして、この働きにおいて、カトリックとプロテスタントは提携する。」（主は来られる 172）

「サタンは、靈魂不滅と日曜日の神聖化という二つの重大な誤りを通して、人々を彼の欺瞞のもとに引き入れる。前者は心霊術の基礎を置き、後者はローマとの親交のきずなを作り出す。合衆国のプロテスタントは、率先して、心霊術と手を結ぶために淵を越えて手を差し伸べる。彼らはまた、ローマの権力と握手するために深淵を越えて手を差し出す。この三重の結合による勢力下に、アメリカはローマの例にならって良心の権利をふみにじるのである。……

法王教徒、プロテスタント、それに世俗の人たちもみな同じように、力のない形だけの敬虔を受け入れるであろう。そして彼らはこの合同の中に、全世界を改心させるための一大運動と、長く待ち望んでいた福千年期の先触れを認めるのである。」（同上 190）

- b. 詩篇記者のどの言葉が、確かに今日こだますることができますか（詩篇 119:126）。

「わたしたちが生きているこの時代は、墮落の顕著な時代である。宗教的な抑制が投げ捨てられ、人々は神の律法を自分たちの注意に値しないものとして拒んでいる。尋常ならぬ侮蔑がこの聖なる律法に投げかけられている。……

人々は今や境界線を越えようとしており、主は敵が自分の意志を行うことを許しておられる。……主の足音が地上や水上に聞かれるようになる。神ご自身の誉れのために、今や悪を制圧しようとしておられる。このお方はまもなく、このお方の律法の要求を擁護されるであろう。」（ビュー・アンド・ハルド 1905 年 11 月 23 日）

3. 最終的な出口

- a. はっきりとわたしたちの時代に一使命が成し遂げられる最後のしるしとして—あてはまるキリストがお与えになった一つの警告を挙げなさい (マタイ 24:15-19)。この終わりの時代に、わたしたちはどの要素を考えるべきですか (黙示録 3:11)。

「神の民にとって、今は自分たちの愛情を世に固定したり、自分たちの宝を世に積んだりする時間はない。時は、初期の弟子たちの時のように、遠隔地や人里離れた場所に避難所を求めざるを得なくなる時ははるか先のことではない。ローマ軍によるエルサレムの包囲はユダヤ人のクリスチャンにとって逃亡のしるしであった。同様に法王の安息日を強制する法令において国家が力を掌握することが、わたしたちにとって警告となる。その時には、より小さな都市を離れて山間の人里離れたところに奥まった家を求める準備として、大都市を離れるべき時である。そして今、高価なすまいをここで求める代わりに、わたしたちはより良い国、天国へ住まいを移す準備をしているべきである。わたしたちの資金を自己満足のために費やす代わりに、倹約を研究しているべきである。神が貸し与えて下さったすべてのタラントは、世に警告を与えることにおいてこのお方の栄光のために用いられるべきである。神は諸都市においてご自分の共労者たちがなすべき働きを持っておられる。わたしたちの伝道地は維持されなければならない。新しい伝道地が開かれなければならない。この働きを成功のうちに前進させるために要求される費用は少なくない。礼拝堂、すなわち人々がこの時代のための真理を聞くために招かれる場所が必要である。まさにこの目的のために、神はご自分の管理者たちに資本金をお委ねになったのである。あなたがたの財産が世の事業に縛られ、それによってこの働きが妨げられることのないようにしなさい。あなたが扱うことのできるところで神のみ事業の益のために資金を得なさい。あなたの宝をあなたが天へ入る前に送りなさい。」(教会への証 5 巻 464, 465)

- b. 差し迫った苦悩のただ中で、神はわたしたちにどこに焦点を当てることを望んでおられますか (イザヤ 26:3, 4)。

「イエスのことを考えなさい。このお方は、ご自分の聖所のうちに、孤独な状態ではなく、このお方のご命令を行おうと待っている千々万々の天使たちに囲まれておられるのである。そしてこのお方は神に信頼している最も弱い聖徒のために行って働くように彼らにお命じになる。高い者にも低い者にも、裕福でも貧しくても、同じ助けが備えられているのである。」(信仰によってわたしは生きる 205)

4. わたしたちの焦点を維持する

- a. 最後のテストの時に、危機にさらされている本当の問題を説明しなさい。そして使徒ペテロによれば、どのようにわたしたちはそれに直面するために日々準備しているべきですか（黙示録 13:11, 15-17; 使徒行伝 5:29）。

「日曜日に働くことを禁じられるだけでなく、人々に安息日に労働させ、日曜日遵守に同意するかさもなければ自分たちの自由や命を捨てるかを強要させようとする時が来る。」（レビュー・アンド・ヘアルド 1911 年 4 月 6 日）

- b. この試練の時に、どの恵み深い数々の約束が、わたしたちの天父の優しい見守りを明らかにしていますか（詩篇 31:19, 20; 91:5-7; イザヤ 26:20, 21）。

「[イザヤ 26:20 引用]。[神の民が] 隠れる部屋とは何であろうか。それはキリストと聖天使たちの保護である。神の民はこの時に一か所にいるのではない。彼らは様々な群れの中に、地上のあらゆるところにいる。

わたしは聖徒たちが町々や村々を去って、互いに群れになって集まり、最も人里離れた場所で生きているのを見た。天使たちが彼らに食物と水を備えたが、一方悪人たちは飢えと渇きに苦しんでいた。

夜の間、わたしの前に非常に印象的な光景が過ぎた。大きな混乱と軍隊の衝突があるように見えた。主からの使命者がわたしの前に立って言った、『あなたの家族を呼びなさい。わたしがあなたを導きます。ついてきなさい』。彼はわたしを導いて暗い道を下り、森を通して、それから山間の裂け目を通った。そして言った、『ここならあなたは安全です』。この避難所に導かれてきた人々が他にもあった。天の使者は言った、『悩みの時は、主があなたがたに来ると警告しておられたように、夜盗人のように来たのです』。

キリストの来臨の直前の悩みの時に、義人は天使たちの奉仕を通して守られる。しかし、神の律法の違反者たちには安全がない。天使たちはそのとき、神聖な規則の一つでも無視する人々を守ることはできない。

地上歴史の終わりの時代に、主は正しいことに堅実に立つ人々のために力強く働かれる。」（主は来られる 270）

5. 栄光に満ちた救出！

- a. 現在、どの謹厳な思想をもって、わたしたちは思いを強化しているべきですか（マルコ 8:38; 黙示録 22:7, 12）。

「わたしたちは〔主の〕来臨を切望しながら待っている。わたしたちは武具を身に着けている必要がある。わたしたちはクリスチャンの名が意味するすべてのものになる必要がある。わたしたちは自分たちの救い主なる神との習慣的な交わりのうちに、このお方のうちに宿って生きる必要がある。

キリストは品性の完全さを得ることが簡単なことだという保証は与えてこれなかった。……そうだからといって、わたしたちは前進するときに出会う試練のゆえに気弱に臆病になるのだろうか。それらに不平やつぶやきなく対処しないのだろうか。」（原稿リ-ス 10 巻 167）

- b. イエスが戻ってこれるとき、何が起こりますか（詩篇 50:3-6; テサロニケ第一 4:16-18）。

「まもなく、大きな白い雲が現れた。そこには人の子が座しておられた。……

この光景の栄光を描写できる言葉はない。尊厳と無類の栄光の生きた雲がさらに近づき、わたしたちは美しいイエスのみすがたをはつきりと見ることができた。このお方はいばらの冠ではなく、栄光の冠をつけておられた。……

雲の馬車の両脇には翼があり、その下には生きた車輪があった。そして雲の馬車が上に進むと、輪は叫んだ、聖なるかな。そして翼は動くときに叫んだ、聖なるかな。そして聖天使たちの付き添いは雲の周りで、聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、全能な主なる神と叫んだ。そして雲のうちにいる聖徒たちが叫んだ、栄光、ハレルヤ。そして馬車は、聖なる都に向かって上へ進んだ。」（靈的賜物 1 巻 206, 208）

個人的な復習問題

1. 今日、すべての人が忙しいため、魂の敵はどの策略を持っていますか。
2. 黙示録 16 章の三重の結合とその地球規模の欺瞞的な力を説明しなさい。
3. 田舎の生活の深刻なメッセージは 1880 年代以降教えられてきましたが、どの点において、それは信徒たちの安全のために戻ることができないほど必要なものとなりましたか。
4. そこまで迫っているテストは、単に日曜日に休むことについてですか。説明しなさい。
5. イエスの来臨のための準備をする際、何がわたしたちの思いの中で最高であるべきですか。

最終的な結果

「わたしが書きおくれたのも、あなたがたがすべての事について従順であるかどうかを、ためすためにほかならなかった。」(コリント第一 2:9)

「救われた者の家庭を考えてみよう。それは、どんなにすばらしい想像もとうてい描き出すことができないほどのりっぱなものであることをおぼえよう。」(キリストへの道 117)

推奨文献： 各時代の大争闘下巻 441-467
教育 352-361

日曜日

9月24日

1. 墮落した惑星の運命

- a. 地球はその造り主が戻ってこられるときに、何が起こりますか (イザヤ 24:1, 3, 5, 6; エレミヤ 4:23-26)。

「キリストがこられる時、悪人は、全地の表面から一掃される。すなわち、主イエスの口の息によって殺され、来臨の輝きによって滅ぼされる。キリストはご自分の民を神の都へ連れて行かれ、地には住民がいなくなる。……

全地は荒涼たる荒野のように見える。地震によって破壊された都市や村落の廃墟、根こそぎにされた木々、海から投げ出されたり、地中から引き裂かれたごつごつした岩石が、地の表面にちらばっている。」(各時代の大争闘下巻 440, 441)

- b. この星を墮落させた者はどうなりますか (黙示録 20:1, 2)。

「[エレミヤ 4:23-26 引用]。ここが、サタンと悪天使たちが、千年の間住むところとなる。」(同上 442)

2. 千年期

a. サタンが1000年間鎖でつながれるとは、どういう意味ですか（黙示録 20:3）。

「サタンは、地球に制限されているから、他世界に近づいて、決して墮落したことの無い者たちを試み悩ますことはできない。こういう意味で、サタンはつながれるのである。彼が働きかけることのできる者が、だれもいなくなってしまうのである。幾世紀にもわたって彼のただ一つの楽しみであった欺瞞と破壊の行為が、全くできなくなるのである。……

今となつては、悪人たちでさえ、サタンの力の及ばないところにおかれている。サタンは悪天使たちとだけ取り残され、罪がもたらしたのろいの結果を悟る。……

千年の間、サタンは、荒れ果てた地上をさまよい歩いて、自分が神の律法に反逆した結果をながめる。この間のサタンの苦しみは非常なものである。」（各時代の
大争闘下巻 442.443）

b. あらゆる世代から救われ、キリストと空中で会うために上げられる人々によって、どの働きがなされますか（黙示録 20:4, 6; コリント第一 6:2, 3）。

「彼らはキリストと一つになって悪人を審き、その行為を法規の書すなわち聖書と照らし合わせ、それぞれのなしたわざに従って、すべての者に判決を下す。……

サタンと悪天使たちも、キリストとその民によってさばかれる。」（同上 444）

c. キリストと新エルサレムは、千年期の終わりに、地上のどの地点に天から降りてきますか（ゼカリヤ 14:4, 9; 黙示録 21:1, 2）。

「新エルサレムが、目もくらむばかりに光り輝いて天からくだり、きよめられて受け入れ準備の整った場所に落ち着くと、キリストは、ご自分の民や天使たちとともに、その聖なる都にお入りになる。」（同上）

d. 千年期に続く復活の時によみがえる人々の態度はどのようなものですか（黙示録 20:5（上句）, 7, 8）。

3. 欺瞞から破滅へ落ち込む

- a. サタンの最後の欺瞞的な策略を説明しなさい。またその結果はどのように処刑されますか（黙示録 20:9-15; マラキ 4:1）。

「〔サタン〕は、滅びる者たちの全軍を自分の旗下に集め、彼らを通して自分の計画を遂行しようとする。悪人たちはサタンのとりこである。キリストを拒んだことによって、彼らは反逆の指導者の支配を受け入れたのである。彼らは簡単にサタンのそそのかしを受け入れ、その命令に従う。しかもサタンは、昔と変わらないずるさで、自分がサタンであるとは認めない。彼は、自分がこの世界の正当な君であるのに無法にもその継承権を奪われたのだと主張する。彼はその欺いた部下に対して、自分が贖い主であると主張し、彼らを墓からよみがえらせたのは自分の力であって、自分は残酷な暴政から彼らを救い出そうとしているのだと言う。キリストのお姿が見えなくなると、サタンはこれらの主張を裏書きするために不思議な業を行なう。彼は、弱い者を強くし、すべての者に彼自身の精神と力を吹き込む。サタンは、彼らを指揮して聖徒たちの陣営を襲い、神の都を占領しようと提案する。……

密集した部隊は、軍隊らしく秩序整然として、破壊されてでこぼこになっている地上を神の都に向かって進軍する。イエスのご命令によって新エルサレムの門は閉じられ、サタンの大軍は都を包囲して、突撃の態勢をとる。」（各時代の斗争闘下巻 448, 449）

「火が天の神のみもとからくだる。地はくずれる。地の深いところに隠されていた武器が引き出される。焼き尽くす炎が、地のすべての裂け目から吹き出す。岩石そのものが火になる。

悪人はこの地上で報いを受ける。……一瞬のうちに滅ぼされる者もあり、多くの日の間苦しむ者もある。みな『彼らの行いにしたがって』罰せられる（詩篇 28:4）。義人の罪はサタンに移されたので、サタンは自分自身の反逆の罪だけでなく、神の民に犯させたすべての罪のために苦しむ。彼の受ける刑罰は、彼がだました者たちの刑罰よりずっと重い。サタンの欺きによって墮落した者たちがすべて滅びたのちも、彼はまだ生き残って苦しみを受ける。きよめの火によって、悪人たちは根も枝もついに滅ぼされた。サタンが根であり、サタンに従う者たちが枝である。律法の刑罰は全部くんだり、正義の要求は果たされた。天と地はこれを見て、主の義を宣言する。」（同上 459, 460）

4. 永遠のために守られる

a. キリストはどのように、消えない火から義人たちを守られますか (詩篇 84:11)。

「地は滅亡の火をもって包まれたが、義人は聖都の中に安全にいた。」(各時代の
大争闘下巻 460)

b. どの栄光に満ちた出来事が、地上の清めの最後を飾りますか (黙示録 21:1)。

「悪人たちを焼き尽くす火が地をきよめる。あらゆる災いの跡は一掃される。地獄
の火が永遠に燃え続けて、贖われた者たちの前に罪のおそるべき結果をいつまでも
示す、などというようなことはないのである。」(同上 461)

c. 今日わたしたちのために、苦しみと問題に支配されている星になお住みながら、
わたしたちはどこに自分たちの永遠の家を探すべきですか (ペテロ第二 3:13; コ
リント第一 2:9)。

「どんなことばでほめたたえてみても、天の栄光と比類のない救い主の愛の深さを
描写することはできない。」(初代文集 466)

「聖徒の嗣業をあまりに物質的なものに解釈してはならないとの心づかいから、わ
れわれの家郷となるべき新しい地に関する真理を霊的なものにしてしまう人が多い。
キリストは弟子たちのために住居を備えに行くと約束なさった。神のみことばの教え
を信ずる者は、天の住居のことを全然知らないようなことはない。」(生き残る人々
482)

d. ヨハネは新地について、わたしたちにどのような壮大な描写をしていますか (黙
示録 21:3, 4; 22:1-5)。

「水晶のように透きとおった川が永遠に流れ、そのそばにはゆれ動く木々が、主に
贖われた者たちのために備えられた道の上に影を投げている。広々とひろがった平野
の果ては、美しい丘となって盛りあがり、神の山々が高くそびえ立っている。この平
和な平原に、また生ける流れのほとりに、久しい年月の間旅人であり寄留者であった
神の民が、そのすまいを見いだすのである。」(各時代の争闘下巻 463)

5. 永遠の喜び

- a. 新地にはどの状態が回復されますか（イザヤ 35:5-10; 65:25）。天の生活は、どのように描写されていますか。

「わたしは、この上もなく美しい背の高い草の生えた野原を見た。それは、生き生きとした緑色で、銀と金を反映し、誇らかに揺れ動いて、王なるイエスに栄光を帰していた。それから、ライオン、小羊、ひょう、おおかみなど、あらゆる種類の動物がいっぱいいいて、みな仲良く一緒にいる野原に入った。」（初代文集 68, 69）

「猛獣はおとなしくなり、おく病な動物は信頼するようになる。」（教育 355）

- b. すべてのものは永遠の間、だれを中心にまわりますか。またこれはどのように認められるようになりますか（ゼカリヤ 13:6; 黙示録 7:15-17; 5:13）。

「永遠の火炎地獄が贖われた者たちの前に恐ろしい罪の結果をとどめ続けるのではない。ただ一つ思い出させるものが残る。わたしたちの救い主は、永遠にご自分の十字架のしるしを負われるのである。」（預言の霊 4 巻 489）

「永遠の年月が経過するにつれて、神とキリストについてますます豊かですますます輝かしい啓示がもたらされる。知識が進歩していくように、愛と尊敬と幸福も増していく。人々は神について学べば学ぶほど、ますます神のご品性に感嘆するようになる。

.....

大争闘は終わった。もはや罪はなく罪人もいない。全宇宙はきよくなった。調和と喜びのただ一つの脈拍が、広大な大宇宙に脈打つ。いっさいを創造されたおから、いのちと光と喜びとが、無限に広がっている空間に流れ出る。最も微細な原子から最大の世界に至るまで、万物は、生物も無生物も、かげりのない美しさと完全な喜びをもって、神は愛であると告げる。」（各時代の大争闘下巻 467）

個人的な復習問題

1. キリストのまもない再臨のために準備をすることは、なぜこれほど重要なのですか。
2. しばしば誤解される千年期の目的を明らかにしなさい。
3. サタンの最後の策略を説明なさい。なぜ、人々はそれにだまされるのですか。
4. 新しくされた地における生活について、何を悟る必要がありますか。
5. 永遠の主題は何ですか。そしてなぜわたしたちはそれを今感謝すべきなのか。

祝福された望み

「救い主は、弟子たちから離れていこうとするに当たり、また来るという確証を与えて、彼らの悲しみを慰められた。『あなたがたは、心を騒がせないがよい。……わたしの父の家には、すまいがたくさんある。……あなたがたのために、場所を用意しに行くのだから。そして、行って、場所の用意ができたならば、またきて、あなたがたをわたしの ところに迎えよう』（ヨハネ 14:1-3）。『人の子が栄光の中にすべての御使たちを従えて来るとき、彼はその栄光の座につくであろう。そして、すべての国民をその前に集め』る（マタイ 25:31, 32）。

キリストの昇天後、オリブ山にとどまっていた天使たちは、キリスト再臨の約束を弟子たちにくり返した。『あなたがたを離れて天に上げられたこの（同じ）イエスは、天に上って行かれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになるであろう』（使徒行伝 1:11）。また、使徒パウロは、靈感に動かされて次のようにあかしした。『すなわち、主ご自身が天使のかしらの声と神のラッパの鳴り響くうちに、合図の声で、天から下ってこられる』（テサロニケ第一 4:16）。パトモスの預言者も『見よ、彼は、雲に乗ってこられる。すべての人の目、ことに、彼を刺しとおした者たちは、彼を仰ぎ見るであろう』と言っている（黙示録 1:7）。

彼の再臨には、『神が聖なる預言者たちの口をとおして、昔から預言しておられた万物更新の時』の輝かしい光景が関連している（使徒行伝 3:21）。そのとき、長く続いた悪の支配が砕かれて、『この世の国は、われらの主とそのキリストとの国となった。主は世々限りなく支配なさるであろう』（黙示録 11:15）。『こうして主の栄光があらわれ、人は皆ともにこれを見る。』『主なる神は義と誉とを、もろもろの国の前に、生やされる。』主は、『その民の残った者のために、栄えの冠となり、麗しい冠とえられる』（イザヤ書 40:5;61:11;28:5）。

長く待望してきた平和なメシヤの王国が、全天のもとで建設されるのは、この時である。……

主の再臨は、各時代において、神の真の弟子たちの希望であつた。また来るという、オリブ山上での救い主の、離別にあたっての約束は、弟子たちの未来を明るく照らし、彼らの心を喜びと希望で満たし、どんな悲しみも試練もこれを消し去ることはできなかった。苦難と迫害のただ中であつて、『大いなる神、わたしたちの救主キリスト・イエスの 栄光の出現』は、『祝福に満ちた望み』であつた。生きて主の来臨を見たいと望んでいた愛する者たちを葬って、悲しみのうちにあつたテサロニケの人々に、彼らの教師パウロは、救い主の再臨の時に起こる復活を指し示した。そのときには、キリストにあつて死んだ人々がよみがえり、生きている人々と共に引き上げられて、空中で 主にお目にかかる。こうして、『いつも主と共にいるであろう。だから、あなたがたは、これらの言葉をもって互に慰め合いなさい』と彼は言った（テサロニケ第一 4:16-18）。」（各時代の大争闘上巻 387～389）

第一安息日献金

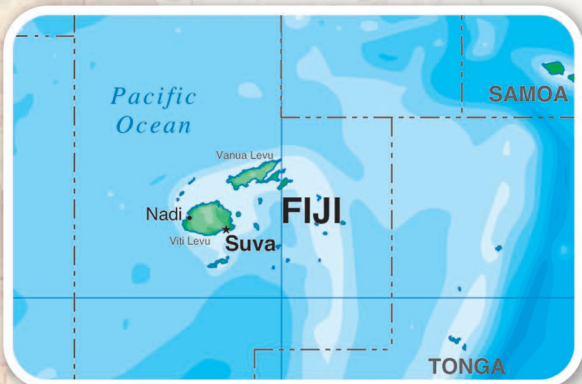


7月1日

アメリカ合衆国ワシントン
D.C. の礼拝堂のために
(4 ページ参照)

8月5日

伝道学校と教育プロジェクトの
ために (30 ページ参照)



9月2日

フィジー・ミッションの本部の
ために (51 ページ参照)